

H I R A K U

拓く

令和8年度広報誌

vol.43



九州栄養福祉大学大学院
九州栄養福祉大学
東筑紫短期大学

筑紫の心

勇気・親和・愛・知性

教育とは心の畑を耕すことあります。
とすれば草を生茂き狭隘して瘦せ
細くは心の草をむり肥料をつかい
新生する芽を伸ばしていつに教育の
使命があります。

東筑紫学園の建学の精神は教職員
学生生徒が心をひとつして勇気親和
愛知性の四つの芽を心の畑に種蒔き育て
いくことあります。

筑紫の心は国を愛し労働をいとわず親や
祖先とあがめ己れをむすとして社会奉仕
する人間像を理想としています。

学園長 宇城信五郎

東筑紫学園沿革

九十一年のあゆみ

- | | |
|----------|---|
| 昭和11年3月 | 筑紫洋裁女学院を創立。 |
| 昭和18年11月 | 財団法人東筑紫技芸女学校創立。理事長、校長に宇城信五郎就任。 |
| 昭和22年3月 | 財団法人東筑紫技芸女学校を財団法人東筑紫学園に改称する。理事長に宇城力子就任。 |
| 昭和22年3月 | 専門学校令による東筑紫女子専門学校を設置し、校長に宇城力子就任。 |
| 昭和22年4月 | 学制改革により東筑紫技芸女学校が東筑紫女子中学校となる。 |
| 昭和23年3月 | 東筑紫高等学校を設置し、校長に宇城力子就任。 |
| 昭和25年3月 | 東筑紫短期大学設立、被服科設置、学長に友枝高彦就任。 |
| 昭和25年8月 | 理事長に宇城信五郎就任。 |
| 昭和26年3月 | 財団法人東筑紫学園を改め学校法人東筑紫学園とする。理事長に宇城信五郎就任。 |
| 昭和26年4月 | 東筑紫幼稚園を設置。 |
| 昭和26年9月 | 東筑紫短期大学開学により東筑紫女子専門学校を発展的に廃止。 |
| 昭和27年11月 | 初代学長友枝高彦辞任し、後任に宇城信五郎就任。 |
| 昭和29年4月 | 短期大学に保育科増設。 |
| 昭和31年11月 | 創立二〇周年記念式典挙行。 |
| 昭和33年3月 | 講堂完成。 |
| 昭和33年4月 | 短期大学に栄養科増設。 |
| 昭和38年4月 | 東筑紫高等学校を東筑紫短期大学附属高等学校に、 |
| 昭和38年5月 | 東筑紫女子中学校を東筑紫短期大学附属中学校に、 |
| 昭和41年4月 | 東筑紫幼稚園を東筑紫短期大学附属幼稚園にそれぞれ名称変更。 |
| 昭和41年4月 | 体育館完成。 |
| 昭和41年5月 | 短期大学栄養科を食物栄養科に名称変更。 |
| 昭和41年5月 | 一号館完成。 |
| 昭和44年4月 | 創立三〇周年記念式典挙行。 |
| 昭和46年4月 | 短期大学被服科を被服専攻と服飾美術専攻に専攻分離。 |
| 昭和49年6月 | 学長宇城信五郎辞任し、理事長専任となる。学長に根津菊次郎就任。 |
| 昭和51年4月 | 学長に宇城信五郎就任。 |
| 昭和55年3月 | 創立四〇周年記念式典挙行、鉄筋4階建記念図書館完成。 |
| 昭和55年6月 | 学友会館完成。 |
| 昭和56年1月 | 学長に宇城力子就任。 |
| 昭和56年5月 | 三号館完成。 |
| 昭和57年1月 | 創立四十五周年記念式典挙行。 |
| 昭和60年9月 | 学園創立者・理事長宇城信五郎死去。 |
| 昭和61年4月 | 理事長に宇城力子就任。 |
| 昭和61年11月 | 宇城記念館完成。 |
| 平成元年4月 | 東筑紫短期大学附属中学校を東筑紫学園中学校に名称変更。 |
| 平成2年4月 | 創立五〇周年記念式典挙行。 |
| 平成3年11月 | 短期大学被服科を生活文化学科に、保育科を保育学科に、 |
| 平成4年4月 | 食物栄養科を食物栄養学科にそれぞれ名称変更。 |
| 平成8年10月 | 東筑紫学園中学校を照曜館中学校に名称変更。 |
| 平成10年10月 | 学長に宇城照曜就任。 |
| 平成13年2月 | 創立五十五周年記念式典挙行。 |
| | 東筑紫短期大学附属高等学校を東筑紫学園高等学校に名称変更。 |
| | 創立六〇周年記念式典挙行。 |
| | 九州栄養福祉大学、東筑紫短期大学専攻科設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。 |
| | 二号館完成。 |

Contents

学校法人 東筑紫学園

02 ― 本学の特徴・基本的教育理念について ―

学校法人 東筑紫学園 理事長

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長 室井廣一

九州栄養福祉大学

食物栄養学部

04 杉元康志 学長補佐

大学院・健康科学研究科長

05 渡邊啓一 学部長

06 食物栄養学科 安倍ちか 学科長

07 食物栄養学科 卒業生の声

08 渡邊啓一 食環境データサイエンス学科長

こども教育学部

09 脇田哲郎 学部長・学科長

リハビリテーション学部

10 高橋精一郎 学長補佐

11 石橋敏郎 学部長

12 理学療法学科 廣滋恵一 学科長

13 理学療法学科 卒業生の声

14 作業療法学科 四元孝道 学科長

15 作業療法学科 卒業生の声

16 令和7年度 食物栄養学部就職状況報告

17 令和7年度 リハビリテーション学部就職状況報告

東筑紫短期大学

18 保育学科 笹部聡子 学科長

19 保育学科 卒業生の声

20 食物栄養学科 近藤順子 学科長

21 食物栄養学科 卒業生の声

22 専攻科 笹部聡子 科長

23 専攻科 卒業生の声

24 令和7年度 東筑紫短期大学就職状況報告

その他 案内・報告等

26 国際理解研修レポート

28 令和7年度 シニアカレッジ開催報告

29 令和7年度 研究紀要

30 北九州市民カレッジ

31 日本リハビリテーション発祥地記念館 見学のご案内

32 サークルレポート

理事長に宇城照耀就任。九州栄養福祉大学設立、食物栄養学部・食物栄養学科設置。学長に宇城照耀就任。東筑紫短期大学学長に室井廣一就任。短期大学に専攻科（介護福祉専攻）設置。学園創立者宇城力子死去。九州栄養福祉大学学長に室井廣一就任。専門学校九州リハビリテーション大学を継承・開学。学校長に室井廣一就任。九州栄養福祉大学大学院設立。（食物栄養学研究科 食物栄養学専攻修士課程）短期大学に美容ファッションビジネス学科を設置。創立70周年記念式典挙行。専門学校九州リハビリテーション大学を四年制専門学校高度専門士課程に変更。九州栄養福祉大学リハビリテーション学部設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。九州栄養福祉大学にリハビリテーション学部理学療法学科、作業療法学科を設置。九州栄養福祉大学大学院・健康科学研究科に名称変更。専門学校九州リハビリテーション大学校閉校。認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。日本リハビリテーション発祥地記念館・九州リハビリテーション大学校記念館館長に室井廣一就任。日本リハビリテーション発祥地記念館・九州リハビリテーション大学校記念館設立。認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園開設。幼稚園型認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園を開設。学園創立80周年記念式典挙行。九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学学生食堂・団体給食実習室棟完成。九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学講堂兼体育館完成。東筑紫短期大学美容ファッションビジネス学科廃止。学校法人東筑紫学園理事長に室井廣一就任。九州栄養福祉大学新学部・新学科設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。ラブラフ・セブ国際大学（フィリピン共和国）と九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学との大学間協定締結。九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学研究棟（旧清心寮）改築。九州栄養福祉大学小倉北区キャンパス5号館改築。九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学1号館改築。九州栄養福祉大学食物栄養学部食環境データサイエンス学科を設置。九州栄養福祉大学にこども教育学部こども教育学科を設置。九州栄養福祉大学にこども教育学部こども教育学科を設置。

令和8年度 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学入学式 学長式辞

— 本学の特徴・基本的教育理念について —



室 井 廣 一
MUROI HIROICHI

学校法人 東筑紫学園 理事長
九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長

ることで専門教育と人格教育の双方が活性化し充実してくるからであります。真に実学教育を目指すなら、その教育課程が実学的でなければならぬのです。

大学の教育というものは教養教育や専門教育を勉強するということは当然でございます。124単位、短大で言いますと62単位、本学の学生はほぼそれ以上を取って卒業していますけれども、それは当たり前のことなのです。当たり前でないのは「四つの心」を育てていくという建学の精神に基づく行事教育という人格教育課程が一緒に進んでいるということです。

人格教育のために本学では主として行事教育というものが計画実践されてきています。ひとつひとつの行事をここで言うことは出来ませんけれども、農園実習、校内親睦の競技大会、あるいは成人式、針供養、建学の精神を説明する学長講話等です。これは大半が90年間繰り返し返されてきた行事でございます。毎日の知性教育も大切ですがこういう行事教育を通して、その知性・技術を生かしていく基本になる人間の人格の全体的な育みを通して、その知性技術教育の枠組みそのものを大きくしていくという試みなのであります。この行事教育には様々なものがありますが、その目的とするところは主として建学の精神「四つの心」の修得にあります。

要するに本学教育の特徴は、それぞれの専門分野を学びながら建学の精神に基づく人格の四つの心・四つの生命力、即ち「勇気・親和・愛・知性」の発動・発展・統合、調和の方法も学び、専門的力と人格的力の両方を修得、たくましい人間形成をするという教育方法を模索しているところにあります。高度な専門分野を習得し国家資格等の取得を目指しながら一方で、「四つの心の全き」も目指すというわけです。

ということで皆さんは早速来週から行事教育というところに入っていくわけですが、詳しくはその時にまたお話ししたいと思いますが、ここで簡単にその人格教育の核となる「四つの心」・「四つの生命力」について触れておきます。

基本的に本学が目指している人格の理想像というものは、「勇気・親和・愛・知性」という四つの心を育てていくということであり、

皆さんから見て右側に建学の精神が掲げられています。教育とは心の畑を耕すことであり、そしてその耕した心の畑に勇気・親和・愛・知性の4つの心の芽を種まき育てていくことであると書かれています。

四つの心というのは、まず「勇気」、わかりやすく言いますと「進んでやれる元気な心」です。人間これがなくなつてはおしまいになります。抽象的には主体性という言葉方をしますが、受動的ではなく能動的な前向きな心であります。それから「親和」、親和というものは「friendship」のことです。これは幼稚園的な言葉で言えば「皆と仲良く遊べる心」です。つまり他者を受け入れる心の広がりという意味にあります。親和力でございます。「愛」は色んな意味がありますが、本学で言う「愛」というものは「人を育む心、

皆さん、ご入学おめでとうございます。

今日は雨の中ではありますが、学校の桜もきれいに咲いて皆さまをお迎えしております。100周年に向かって校舎設備も一新し、綺麗に出来上がったところで新入生の皆さんをお迎えしたというところでございます。本当におめでとうございます。ここまで育ててにられた保護者の皆様、ご来賓の皆様本当におめでとうございます。

さて、今から新入生の皆様に本学の基本的特色・基本的教育システムの概要をお話しします。

本学は、食物栄養学部（食物栄養学科、食環境データサイエンス学科）、リハビリテーション学部（理学療法学科、作業療法学科）、こども教育学部（こども教育学科）、短期大学では保育学科、食物栄養学科、専攻科介護福祉専攻、大学院では健康科学

研究科を設置しています。大学で3学部5学科、短大で2学科と1専攻科、合わせて8学科あり、そして大学院があります。

学園創設100周年に向かって人間生活・地域社会に不可欠な人材を養成する「生活者実学系の総合大学」を目指しています。地域社会に栄養と福祉を与える大学ということで九州栄養福祉大学を名乗り、そういう8分野の高度な専門技術者を養成しています。

この専門家を養成するための本学の教育課程は二つの分野から構成されています。食指導・子育て・介護・リハビリ・データマネジメントというような生活者の実学の専門人養成教育課程と建学の精神に基づく人格教育課程の双方からです。高度な専門家養成と人格教育をできるだけ一体的に実践していくということですから、それはそうす

慈しむ心」です。これがない人はやはり薄っぺらな人間になってしまいます。他者を育む力を持つていなければ本当に強い人間にはなれません。こういう心を持つていないといくら勉強が出来ると言っても、少し心が寒くなってしまう、北風が吹いてくるような感じになってしまいます。それから「知性」。なぜかなあどうするのかあという知的探求心であります。この四つの心・力をできるだけ調和均衡をとって発達させるといのが本学の基本的な人格教育理念であります。これを「筑紫の心」と言います。

この四つの心が発達してきますと、その発達段階に応じて必ずその人なりの夢目標が現れてきます。それが発現するとその夢目標は必ず四つの心を大きく発展させていきます。それが発展すれば夢目標がさらに充実していきます。両者はそういう相互関係にあります。

本学園のこども園の卒園式では必ず卒園証書を渡すときに園児一人一人に将来何になりたいかを言ってもらいます。将来何になるか、皆それぞれの夢を語ります。それがどこまで持続力があるかということとはともかくとして、夢を語らせるということが重要なのであります。人間の四つの心の成長にとって、夢・目標というものはそれくらいとても大切なことです。

この四つの心ですね。もう一回繰り返しますと、進んでやれる元気な心。それから皆と仲良く遊べる心、人を差別しないで誰とでも打ち解けて喋れる心、それから両親祖父母からいただいた愛の心、人を慈しみ育む心。なぜかなあ、どうするのかあと自分の目標に向かって自分を知的的に反省し内省する知性の心。この四つの心がひとつの人格の中に「四隅の柱」のようにしっ

かり立っていないと大きな目標を立てても長続きしません。この四つの心の上にしっかり立った夢・目標、皆さんで言うならば「教育者になる」あるいは「リハビリの先生になる」「データサイエンスの新しい世界を北九州で拓く」ということになります。しかしそれはそれで大事ですが、それが四つの勇気・親和・愛・知性、日本の古典的概念ではこれを「荒魂・和魂・幸魂・奇魂」と申しますが、これに支えられているかどうかにより重要です。

私たちはこの四つの心の源を両親祖父母先祖から非連続的に連続しながら継承しています。いただいているのです。ここがとても重要です。この両方の勉強が東筑紫学園では大切です。

こういう教育理念で本学園は幼稚園から中学校、高校、短期大学、大学、大学院と一貫してこれまで90年間模索しながらやり続けている学校でございます。教科教育・養育教育・専門教育だけでなく、行事教育というものを合わせて、四つの心・四つの生命力を大きく育んでゆこうという教育方法であります。

しかし皆さん、両親・祖父母から四つの力を貰ったといってもいつ貰ったか分からないでしょう。私も分からないんですけれどね。母親の腹から出てきた時に、個体が分離(separation)した時に貰ったのか、腹の中にいるときにこの勇気・親和・愛・知性を貰ったのか、母親の腹から出てくる時に非常に苦しい絶望的な限界状況で泣き泣き出てきたその時に貰ったのか、色々あると思うのです。これはなかなか難しいところでもありますけれども、少なくとも母子分離していく時に何かがやはり起こっているであろうということが間違いないと思います。

その時のことは思い出せないからと言ってこんな勇気・親和・愛・知性、四つの力、体と心を継承してくれた存在を忘れてしまってはいけないということです。何故か。自分の源を見失い、自己の非連続的連続性の生命力を意識できない弱い人間になってしまいうからです。自分の歴史的両親が、その時代時代の厳しい環境下を生き抜き生殖細胞を通して自分というものを存在させているのだということ意識できない人間はただの個人化の枠に閉じ込められ、非連続的に連続して生き抜いている強力な生命力の存在を自覚できないままに終わってしまう恐れがあるのです。

確かに私たちは生まれてくる時の状況など覚えていませんから四つの心が授与された時のことなど思い出せないわけです。だから自分の両親に対する感謝の念なんて湧きようがないのです。でも母子分離の時に大変尊いものを戴き託されているということにいつか気付いたならば、自分の心と体を、せっかくいただいた命を大事にして、朝起きたら顔を洗って、夜一日疲れた時にはお風呂場で足の指一本一本を、爪を傷つけたりしては立ち上がるのが出来ませんから、このひとつひとつをいただいた「人」に「ありがとうございます」と感謝して、長い間大事に使わせていただきますという気持ちでお掃除をしなければいけませんね。顔だけ綺麗にしているだけでは駄目です。足の指まで一本一本、両親がくれたんだな、タダでもらっているから分らないかな、と18から20歳くらいになれば、そういうことがしみじみと分かってくるわけじゃないけません。両親とぶつかる時はしよっちゅうあります。私なんかもそうでした。それでも、この両親こそが、私に四つの心という生命力・

宝物を伝え与えてくれたのだと思えばね、人間としての最低限の礼節を忘れてはなりませんね。この両親がいなければ自分もいないのだからね。そういうことを分かったうえで争うときには争うということだけばいけないと思います。

いつの日だったか附属幼稚園で聞きました。お誕生日会の親子教室で何かで母さんが言います。「生まれてきてくれてありがとう」と、園児がお返しします、「お母さん、命をつないでくれてありがとうございます」と。いい言葉・言葉でした。こういう言葉を聞きますと、親にももらったこんな大切な命の四つの心、これだけはどんな辛いことがあってもゴミだらけ・ストレスまみれにしないですぐにお掃除し、いつも磨き上げかびかしてはおかねばならない、汚してはいけないというお掃除の大切さがわかってきます。環境のお掃除から体と心のお掃除までこれからしっかり学んでください。四つの心をピカピカに磨いておかないと四つの心のための人格教育と専門教育の調和統合的実践力が低下してしまいます。せっかくいただいたこの生命力を汚さないでまっさら真澄にして生きられるところまでは生きていきましょう。

以上本学の四つの心の教育の一端を申し上げましてこれから2年、4年後の卒業時には皆さんが立派な四つの心の柱と高度な専門技術を持った専門家としてこの学校を巣立つていくことを確信し、九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学令和8年度入学式の学長式辞とさせていただきます。本日は皆様誠におめでとうございます。

(本稿は令和8年度入学式式辞に若干の加筆訂正を加えたものである。)

新しい年度への期待の1年



杉 元 康 志

SUGIMOTO YASUSHI

食物栄養学部 学長補佐

大学院・健康科学研究科長

令和8年度がスタートし、希望に満ちた新しい学生を迎え、大学も活気に満ちています。例年のことですが、気が閉まる思いで緊張感を持って教育に励みたいと感じています。

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

大学生活が始まったという実感に溢れていると思います。本学の実感理念である筑紫の心―勇氣、親和、愛、知性の4つの心を育みながら、勉学はさることながら多くの人との出会いや経験を通じて自己を深め、社会と繋がり、社会の仕組みを理解して大きく成長することを期待します。

本学部は管理栄養士を養成する食物栄養学科と食環境データサイエンス学科から成り立っています。前者は国民の健康を食と栄養の面で支えるヘルススペシャリストとして社会に貢

献する人材の養成に努めています。後者は、昨年度に開設した新しい学科で、食環境と健康に関わる諸問題を解決できる先端のデータサイエンスの養成を目指す学科となっています。昨今の管理栄養士国家試験について申しますと、単なる知識の暗記

では合格が難しい試験になっています。実践的で判断力がある応用問題が増えているのがその傾向です。その結果、合格率も下がりが気味で対応できない学生は厳しい試験となっています。本学も多くの時間を割いて補習などを増やし、対策を講じていますが、対応できない学生が増える傾向にあります。そのためには、計画を立てて計画的な学習を心がける、目標設定を明確にする、持続的な努力を大切にす、理解を深めることを優先する、効率的な学習方法を見つける、定期的に復習する、自己管理を徹底する、教員をうまく活用する、個別ではなく小グループの勉強環境を作る、自己管理とストレスコントロールをしつかりするなど積極的に挑戦する心を持つことと合格するという強い決意が必要です。

未来が不透明な状況が続いています。世界情勢、日本を取り巻く諸問題、決して明るいものばかりではありません。日本は、30年前は世界をリードする技術大国で経済的にも将来的に希望のある国でしたが、現在ではICTやAI、半導体や金融分野では後れを取り、国家の地位が年々低くなっており、将来が不透明であり、国の発展に大きなリスクを抱えているのも事実

大学院の現状

大学院健康科学研究科は平成17年に設立されて22年目になります。これまで多くの修了生を輩出し、より高い知識と社会性を身に着けて様々な分野で活躍していることを心から喜び、修了生および教員に敬意を表したいと思います。

現在、日本の大学院状況を見ますと修士課程への進学率は11%前後、博士課程には2%程度となっています。修士課程に在籍して得られていることで、「論理性や批判的思考力」、「データ処理、活用能力」、「コミュニケーション能力」、「自ら課題を発見し設定する力」、「高度な専門知識」などが今後役に立つと考えています。

本学は修士課程のみの大学院ですが、昨今の学生気質でしょうか？なかなか

です。少子高齢化社会、DX化の遅れ、円安と物価高、格差の拡大など明るい材料はなかなか見つかりません。

そうした中で大学生に求められるものは将来の日本をどのような国にするか、どのように作っていくかを真剣に考えることです。大いに語り合い切磋琢磨して将来を担っていく人材になることを願っています。

大学院に進学する学生が少なくなっており、非常に危惧される状況になっています。一方、社会人の入学がコンスタントにあり、彼らは仕事と学業を両立しながら奮闘しております。社会人は仕事を終えてほぼ18時過ぎの授業に参加し、21時頃まで勉学に勤しむ日課となっています。土日にも授業がある場合があります。修士論文研究と併せその努力に敬服しています。貴重なキャリアパスとなり、今後の仕事に大いに役立ってほしいと願っています。

大学院としてもより進学・入学する学生を受け入れやすい環境を整えていく必要があります。具体的には教育および研究の質の向上、研究施設の充実、学業生活支援、就職支援など学生にとって学びやすい状況を作ること多くの学生の入学を受け入れられると思います、努力していきます。

地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して



渡 邊 啓 一
WATANABE KEIICHI
食物栄養学部長

はじめに：建学の精神と本学の強み

九州栄養福祉大学は、幼稚園から大学院までを擁する学校法人東筑紫学園のもと、建学の精神「勇気・親和・愛・知性」を基盤に、地域社会を支える多数のスペシャリストを輩出してきました。令和7年度には「食環境データサイエンス学科」と「子ども教育学科」を新設し、教育研究環境はさらに充実したものとなっています。本学の最大の強みは、これらの学部・学科の枠を越えた学内連携にあります。人生のあらゆるステージにおいて人々が健康で幸せに暮らせる「これからの福祉社会」に求められる人材を輩出するにふさわしい環境が、ここには整っています。

社会的役割の拡大と、誇るべき実績

平成13年に開設された食物栄養学部・食物栄養学科は、「食を通じて福

祉を実現する」という使命感を持った管理栄養士を養成してきました。これまでに2,391名の卒業生を送り出し、開設以来「就職率100%」を誇っています。卒業生は病院や介護施設、保育園をはじめ、栄養教諭や企業の食品開発など多様な分野で活躍しており、自ら起業する者もいます。こうした第一線で活躍する先輩たちが、講演などを通じて在学生に生きた学びを提供してくれることも私たちの誇りです。

近年、超高齢社会や地域包括ケアの進展を背景に、管理栄養士は単に「食事を管理する職種」から「医療・介護・地域を支える専門職」へと役割が拡大しています。まさに本学部の開設目的である、高い使命感を持った管理栄養士の養成が、社会的にますます必要とされているのです。

地域に根ざした実践的な学びの推進

このような社会的要請に応え、本学部では地域課題の解決を目指す「食環境地域連携演習」を開講しています。昨年度は、学生たちが企業や北九州市と連携した食を通じた地域づくり活動がマスメディアに数多く取り上げられ、全

国規模で表彰されるなど高い評価を受けました。また、令和7年10月からは地域連携センター内でこども食堂「九栄わんぱくハウス」を毎月開いています。卒業生や地元企業と協力したこの取り組みは、ネット募集開始後数分で定員に達するほどの大人気です。学生たちは社会奉仕の喜びを実感し、専門職としての視野を広げています。

未来を拓く「食環境データサイエンス学科」

現代の「人生100年時代」やデジタル社会の進展において、エビデンスに基づく栄養管理やデータ活用的重要性は急速に高まっています。そこで令和7年4月、食物栄養学部内に「食環境データサイエンス学科」を新設しました。食と健康の専門知識に加え、最先端のAI・データサイエンス技術を修得し、食環境の課題解決に挑むデータサイエンスティストを育成します。

本学科はすでに、北九州地域を中心とする42の企業・団体と教育・研究開発に関する連携協定を結んでおり、実社会の課題に挑むマインドとスキルを磨くことができます。また、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」において、大学全体

で本年度に「リテラシーレベル」、新学科で来年度に「応用基礎レベル」の認定を受ける予定であり、国が認める質の高いデジタル教育を推進しています。

北九州から世界へ、そして未来へ

北九州市はかつて日本の産業の心臓部であり、公害を克服した現在には先進的な「環境テクノロジーの街」として歩み続けています。令和7年11月には、SDGsの国際データサイエンス会議ともいえる「国連統計委員会専門家会合」が同市で開催されました。この会議のコーヒープレークにおいて、本学の学生が放置竹林という地域課題の解決を目指して考案し、地元企業の協力で商品化した「竹炭かりんとう」が提供され、世界27加盟国の代表らから大好評を博しました。学生たちの思いが世界に届いたことは、本学の大きな誇りです。

本大学と短大では、保育、子ども教育、リハビリ、介護分野の教育研究も行っています。これらの領域と「食」、そして「データサイエンス」を組み合わせて、子どもから高齢者までの豊かな食生活と健康を実現し、持続可能な地域社会と世界の健康福祉に貢献する人材を、これからの北九州の地から未来に向けて育ててまいります。

AI時代における 管理栄養士の役割と広がり続ける可能性



安倍 ちか
ABE CHIKA
食物栄養学科長

管理栄養士の育成を目指していますが、学部内に食環境データサイエンス学科が設置されたことから管理栄養士の資質能力として必要とされるAI活用の技術やデータ処理のスキルアップに繋がることを期待しております。

療養中の患者さんへのサポートや子どもへの食育、企業における食品開発、アスリートへの支援など、多彩な活躍の場面と高い需要があります。本学では、これまで多くの卒業生を管理栄養士として社会に輩出した実績があることから、今後も学生の皆さんがそれぞれ夢に描く理想の管理栄養士を目指して力量を高めることができるような教育環境づくりとその指導に努めて参ります。

本学に食環境データサイエンス学科とこども教育学部が新設され、一年が経過しました。学内での行事をはじめ、日常の大学生活の様々な場面で学生間の活発な交流がみられ、以前にも増して学内が明るく活気づいていると感じております。4月に開催されたレクリエーションスポーツ大会においては、学生同士で協力し合い、一丸となって作戦を練り、競技に挑んでいる姿や学部学科を越えて応援の声が飛び交うなど、本学の建学の精神である「勇気」、「親和力」、「愛」、「知性」が着実に学生の中で育っていることを実感できました。

また、本学科は、食と栄養の高度な専門知識とスキルを活かし、食を通して人々を健康へと導くことのできる

このように、管理栄養士業務の効率化を図る上でAI化は重要ですが、だからといって、AI技術の進化が、管理栄養士の担う役割を減少させるものではありません。その役割をより専門的で、人間にしかできない領域へとシフトさせることができます。例えば、クライアントの心に寄り添うことのできるカウンセリングや、複雑な状況判断、病院や福祉の現場等での多職種連携の調整役といった、人間ならではの高度な能力が求められる業務に集中できるようになります。さらに、管理栄養士は、子どもから高齢の方まで幅広い世代の方々に食や栄養面で貢献できるお仕事であること、そして活躍できるフィールドが広いことも大きな魅力の一つです。具体的には、

第40回 管理栄養士国家試験

本学合格率

75.6%

68名合格／90名受験

栄養教諭一種免許状取得

令和7年度卒 11名

活動紹介

食環境地域連携演習

サンタウォーク
ふくおか地域づくり活動賞受賞



地域づくりネットワーク
福岡県協議会に応募!

福津いいざい×九州栄養福祉大学
めぐり鯛みたらしソース商品開発



福津市長にお披露
目記者発表に行きました!

竹炭かりんとろ
九州農政局特別賞受賞



農林水産省主催!
第2回みどり戦略学生
チャレンジ応募!

AI・データサイエンスと食で地域の未来を創造



渡 邊 啓 一

WATANABE KEIICHI

食環境データサイエンス学科長

いま、スマート農業やビッグデータの活用など、食を取り巻く環境は激変しています。九州栄養福祉大学では、この時代に対応し「データサイエンス」と「食」を融合した新しい人材を育成するため、昨年4月に食環境データサイエンス学科を開設しました。本学が培ってきた食と健康の専門性に加え、生産から消費、健康維持に至る広範な「食環境」のデータを科学的に分析し、課題解決に活かす力を養います。開設2年目を迎え、現在は小規模ながらも学生一人ひとりに寄り添う丁寧な教育環境を整えており、九州・山口地区のみならず長野県からも意欲ある学生を迎えています。

本学科の最大の特色は、企業や自治体と連携した実践型教育です。本

学が締結する42の企業・団体との包括連携協定を基盤に、ITやロボット関連など幅広い分野のリアルな課題に向き合います。また、地元国立工科大学との連携による高度なAI教育や、フランスのバイオ産業大学（EBI）との共同研究による「AIを利用した減塩サプリメントの開発」など、学びの舞台は世界へと広がっています。施設面でも、企業との共同研究やインターシップに活用できる最先端のラボラトリーやフローズンダイニングを備えた新学科棟を整備しました。

こうした卓越した環境のもと、すでに学生たちの主体的な挑戦が実を結んでいます。学生たちは「起業家同好会」や「AI北九州ブランドフード研究会」を立ち上げ、地域課題の解決に取り組んでいます。さらに、学科棟内にオフィスを持つAI企業で実践的に働く学生や、入学後すぐに高齢者支援の株式会社を設立して自ら社長に就任した学生も現れました。

データサイエンスは、これからの

時代を生きるために必要な基礎教養と捉えています。AI・データサイエンス技術と食や健康の専門知識を武器に、地域社会の未来を創造し、新たな価値を社会に提供できる人材を育んでまいります。

高大連携

高校生の探究活動

福岡県公立古賀竟成館高等学校陸上部の皆さん



総合的な探求学習の一環として生徒さんが「食の課題」について発表し、本学教授陣が「データサイエンス」ならではの角度からアドバイス。

座談会形式での質問コーナーのあとは学科棟の見学&体験会！

モーションキャプチャー体験や、アイスの瞬間冷凍体験、走行型ドローンの運転体験など、食とデータに関わる最先端の設備や機材に皆さんの目が輝いていました。

筑紫の心で編む、 これからの教育



脇田 哲郎
WAKITA TETSURO
こども教育学部長
こども教育学科長

こども教育学部が令和7年度に開設されてから、早いもので一年が経過いたしました。昨年度の新設に際しまして、多大なるご支援を賜りました室井廣一学長先生をはじめ、学内外の皆様に深く感謝を申し上げます。私たちが生きる現代は、AIの台頭や予測困難な社会情勢により、正解のない問いに立ち向かう力が求められています。教育の場においても、単なる「知識のコピー」を伝えるだけではなく、子どもたちの未来を拓くことはできません。今、改めて本学の建学の精神である「筑紫の心（勇氣、親和、愛、知性）」を土台とした新しい教員養成のあり方が問われています。

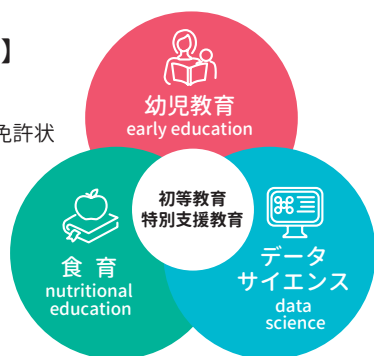
現代の教育は、テストの点数やスキルの習得といった「資格化」、あるいは社会のルールに合わせる「社会化」に偏りがちです。しかし、教育学者ガート・ビースタが説くように、教育の真髄は、子どもたちが一人の人間として自分らしく生きる「主体化」にあります。教員自身が、マニュアル通りに動く「交換可能な部品（スペック）」であっては、子どもの主体化を支えることはできません。目の前の子どもに予想外の反応に対し、既存の枠組みに安住せず、自分自身の言葉で応答する「勇氣」と、それを支える深い「知性」が必要です。数値化できない「替えの利かない存在」として子どもの前に立つことこそ、私たちが目指す教員の姿です。

人類学者ティム・インゴルドは、学びを情報の伝達ではなく、世界と関わりながら自らの生の軌跡を伸ばしていくプロセスであると説いています。本学部では、教育を「教員が引いたルールの上を歩かせること」とは考えません。教員の役割は、子どもたちが世界の美しさや不思議さに自ら「注意」を向けられるよう、共に歩む伴走者であることです。子どもたちが描く多様な「生のライン」を大切に受け止め、それらが絡まり合って豊かな「メッシュワーク（網目）」を形成する場を、慈愛に満ちた「親和」と「愛」の心で整えていく。そんな「共に生き、共に生成する」教育を推進してまいります。

本学部では、1年次からの実習（フィールドワーク）を重視しています。学生たちは現場の泥にまみれ、子どもたちの生命の輝きに触れる中で、理論を血の通った実践知へと変えていきます。私たちが養成するのは、単に教科書を教える技術者ではありません。子どもと共に悩み、共に驚き、身体全体で子供の求めに応答できる教員です。具体的には、1年次には、教員の仕事を実際に観察しながら理解する「体験実習」を行います。2年次には、授業を計画し実際に行ってみることによって3年次の教育実習に備える「基礎実習」を、そして、3年次には、小学校や附属幼稚園で3週間の「教育実習」を行い教育実践力を育成します。さらに、4年次では、教員補助を行いながら実践的な実習を行う「インターシッピング実習」と特別支援学校や保育園での「教育実習」を実施します。このような実習を通して、学生たちは、多様なニーズを持つ子どもたちに対しても、一人の人間として深く関わる力を養います。本学が地域の子どもたちの健やかな生を支えるメッシュワークの中心地となるべく、探求心を持ち続ける実践者を送り出そうと考えています。

【取得目標免許・資格】

- 小学校教諭一種免許状
- 特別支援学校教諭一種免許状
- 幼稚園教諭一種免許状
- 保育士資格



「本学の学びの3大ポイント」

「啐啄同時」は死語になったか？



高橋 精一郎

TAKAHASHI SEIICHIRO

小倉南区キャンパス 学長補佐

啐啄同時、この言葉に接したのは30歳代に出身中学校で教育実習をしたときでした。教育界ではよく使われる言葉で、「啐は驚く、叫ぶ、呼ぶ」、「啄はついでむ」という意味です。卵の中のヒナが殻をコツコツつくことを「啐」、ちょうどその時、親鳥が外から卵の殻をコツコツつくことを「啄」と言い、両者が一致してヒナが生まれることから「絶好の好機、またとない好機」を表す言葉として使われます。もとは禅宗の言葉で「弟子が悟りを開くまであと一歩というとき、師匠がすかさず指導して悟りを得られるようにすること」をいうそうです。これには学ぶ者と指導する者の呼吸がぴったりと合わなければなりません。教育の場では学生が知識を求めて意欲を示した時にタイミングを合わせて、教師が必要な量だけ

支援や指導を行うことになります。それ以来40年余り、この言葉を頭の隅において自分なりに学生に接してきました。

以前は文字通り「啐―啄」の関係で学生から殻をつつき教師が呼応することもありました。多くの「啄―啐」

の関係で教師から投げかけられればそれに応え、タイミングのズレはあるもののお互いに響きあうものがありました。教育の理想的なかわり方だと思っています。しかし最近はこの関係性が作れない（発生しない）ことが多くなりました。学生から殻をつつくことはまずありません。こちらから殻をつつくタイミングを探ろうと、少しづつ試みても反応が戻ってきません。つい、つづきすぎて殻を割ってしまう学生を殻から引き出してしまうことになります。学生はまだ自ら学ぶ姿勢ができていないので、引き出した後は一方的に教えることとなります。啐啄同時は死語になってしまったかのように感じます。

以前の理学療法・作業療法の情報も乏しい時代でも学生は知的探究心や臨床体験への積極性を持っていました。

医療を学ぶ者として、いずれ求められる対象者への責任感についても意識していました。年々探究心も積極性も学習意欲も希薄で、学習習慣を持っていない学生が増えてきたように感じます。今後も少子化が進み、リハ分野に進む学生も減少してくれば、今以上にこのような学生を受け入れなければならぬでしょう。かといって、国家試験に通れば良いという教育レベルでは役に立たないのです。リハ学部では卒業の先に患者さんが待っていますし、他の学部も子供や利用者の方々がいいます。大学の社会に対する責任として、この現場であっても卒業生のレベルを落とさず、九条大の卒業生ならば安心して仕事を任せられる。といった今まで築き上げた社会からの信頼は維持していかなければならないからです。どのように維持していくかは教育方法と結びついた大切な課題と思います。

政府は2040年までに私立大学を少なくとも250校、14万人程度の学部定員の削減を目指すと発表しました。①私大の約半数が少子化で定員割れをしていることから削減案ですが、文科省は地域の産業、医療・福祉、社会インフラを支える人材輩出機能を持つ大学の維持は必要だとしています。②当学はすでに「実学教育」の方針の下に前述の人材輩出を実践していますが、一

段と実学教育を推進しなければならぬでしょう。その中で、リハ学部の実学教育は臨床にあります。患者さんと接しなければ実学とは言えません。高齢者の健康教室や障害者スポーツへの関与はありますが、教員の専門とする疾患の臨床での関与はありません。教員の実学経験の継続が整備されていないのです。地域連携や企業連携が言われる中、リハ学部も病院や施設と連携して教員が臨床基盤を持つとともに入学の早い時期から学生に臨床に接する機会を与えることで実学教育が充実すると考えます。

リハ分野に進学する高校生が減少する中で、病院を母体とした養成校と競争するには教育力や歴史の力だけではなく臨床環境も必要です。連携協力ができ、環境が整備されれば、啐啄同時ができる学生が多く育ってくれると確信しています。

- 1) 辞典オンライン「四字熟語辞典」:
<https://yoji-jitenon.jp/yojim/6384>
(2026年4月参照)
- 2) 読売新聞オンライン:「私立大学250校削減案、財務省が2040年目標」
<https://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/news/20260429-GY1TT00354/>
(2026年5月参照)

リハビリテーション分野において 真のチーム医療を築ける人材の育成を目指して



石橋 敏郎

ISHIBASHI TOSHIRO

リハビリテーション学部長・学生部長

国家資格である理学療法士と作業療法士は、リハビリテーション医療を担う重要な専門職（セラピスト）であり、臨床現場においては、障がいを抱えた対象者の機能回復や日常生活活動能力を高めるための効果的なアプローチが求められます。セラピストが、障がいのある方を実際に担当すると、その方が抱えている諸問題が多様な様かつ複雑であるために、多面的かつ柔軟な対応が求められることになり、どうしても他職種の協力（協働）が必要となります。しかしながら、リハビリテーション分野に関わる医療従事者が理想的なチーム医療を実施することとは、容易なことではありません。

医療従事者が互いにタッグを組んで、真のチーム医療を遂行するためには、各専門職が豊富な知識と高い技術力を駆使するだけでなく、他職種の業務内容をきちんと理解したうえで、互いに助け合いながら医療行為を実行することが求められます。

方向性などの治療方針について、対象者に関わる専門職が集まって、他職種間で話し合う場であるカンファレンスが行われることがあります。このカンファレンスでは、対象者に対する治療の方向性の確認と目標の共有など、チーム医療の目標を明確にして、他職種が同じ目標に向かって団結して取り組むことが求められます。

チーム医療を円滑に進めていくためには、対象者を中心として治療に関わる全ての職種の人たちの間には、緻密な連携が必要となります。その連携内容は、情報共有はもちろん、報告・連絡・相談だけでなく、真の協働つまりチーム医療が求められ、このためには、相手のことを思いやる建学の精神の1つである「親和力」を身につけておく必要があります。この能力を身につけるためには、本学で重点的に取り組んでいる「行事教育」を通して、修得してほしいと考えています。

小倉南区キャンパスでは、毎年文化の日に行われてる一大イベントである「大学祭」が開催されています。大学祭では、リハビリテーション学部らしい企画もあり、小規模ながらも盛り

上がっています。例年、リハビリテーション学部の2年生を中心として、夏休み前から準備に取りかかり、数ヶ月かけて取り組むことになります。この大学祭を成功させるためには、学友会のメンバーだけでなく、各企画のリーダーやサブリーダーを中心として、学生と教職員が一致団結しなければなりません。一般的な講義や演習などの「教科教育」の中では、経験することのない体験をすることができません。大学祭の実行委員は有志であり、自ら大変な役目を担いつつ、縁の下で力持ちとして尽力することになります。でも、その中で培った能力は生涯にわたり役立つことになり、かけがえないものになります。

この葛原の地で、約40年前に理学療法士になることを目指して同じ道を歩いた先輩として、4年間の大学生活を悔いの無いように過ごしてほしいと願っています。一緒に過ごした友人はかけがえのない存在となります。学生間で切磋琢磨して、できるだけ心に残る思い出を作って、この葛原の地を胸を張って巣立って行つてほしいと思います。期待しています。

理学療法学科の4年間教育を支える多くのちから



廣 滋 恵 一
HIROSHIGE KEIICHI
理学療法学科長

令和8年度、理学療法学科は83名の入学生をお迎えすることが出来ました。理学療法士への憧れを持って入学された皆さんと共に夢を叶えたいと思います。

さて、理学療法学科では建学の精神「筑紫の心」にあります4つの心（勇氣・親和・愛・知性）を入学から卒業まで（あるいはその先を見据えて）段階的かつ拡張的に涵養しています。

具体的に1年次では、お互いの個性を尊重し支え合う力としての親和力、新しい学修に挑む強い覚悟、勇気を持って取り組む力を養います。学生には「本学が専門的知識と技術を学ぶ場所である」ということをしっかりと示し、学生の環境適応力を刺激しています。2年次では、医学系科目の情

報量が多くなります。よって、理解度を維持するには1年次からの学修習慣、継続力が不可欠となります。1年次の親和力と勇気をもって2年次の難関を突破し、自信をつけて3年次の学修や臨床実習に向かいます。3・4年次の臨床実習に備えた

学内教育では、客観的臨床能力試験（通称OSCE）や学力確認試験を行いながら実習前の基礎を築いていきます。3年次は2日間の見学実習、4週間の評価実習、7週間の総合実習を経て4年次へ進みます。4年次では、さらに7週間の総合実習と地域医療を学ぶ実習を経験します。その後、国家試験勉強と並行して就職活動を行います。4年次は体感的にあっという間の1年だと思っています。

学科の4年間の取り組みをアセスメント（分析評価）するならば、国家試験の合格率や就職率、そして卒業生の満足度が評価結果となりますが、多くの学生が第一希望の就職先に勤めていること等を鑑みれば4つの心が涵養された証ではないかと思いま

す。無論、1年次からの計画的な取り組みを実行し、振り返りや修正をしながらPDCA（Plan・Do・Check・Act）サイクルを回していく教職員の団結力は当然のこと、学生自身の努力とご家族のご協力も無くてはなりません。これからも地域医療に貢献する立派な理学療法士を輩出することができるようお力添えを宜しくお願い申し上げます。

第61回 理学療法士国家試験

本学合格率

98.7%

76名合格/77名受験

- ・園芸療法士取得 令和7年度卒 7名
- ・パラスポーツ指導員（初級） 令和7年度卒 52名

理学療法（Physical Therapy:PT）とは

理学療法（Physical Therapy:PT）とは、交通事故やスポーツ障害、生活習慣病や高齢化、小児疾患など身体が不自由になった方々に対し、心身の両面から機能回復・維持をはかる医療です。身体機能・心理面・リスクなど、個々の状態を科学的にとらえ、適切な治療方法や目標を設定することで治療を進めます。人の立つ・歩く・座るといった動きやその機能を医学的に分析・考察し、運動を治療の手段として活用する高度な医療技術のひとつです。

国家試験合格は大きな目標の通過点

理学療法士として働くためには国家資格の取得が不可欠です。本学科では国家試験合格はもとより、高度な知識技能と科学者としての目を持った専門家として障害に苦しむ方々を支えられる人材育成を大きな目標としています。

その意味で理学療法士は、生涯が勉強の連続。まずは、「四つの心の芽を育てよう！」これは本学理学療法学科の合言葉です。

人間性豊かな専門家を育てるためのカリキュラム

実際のカリキュラムでは、入学直後の早朝から専門基礎科目として解剖学や生理学などを、専門科目として評価学や運動療法などを学びます。また、学外から各分野のスペシャリストを講師として招き、医療全般の実務に関わる内容が講義されます。

落ちついた教育環境とリハビリテーション発祥の地で、医療人としての自覚を促すカリキュラムが展開されます。また、社会人としての基本的マナーなど、医療人としての基本的な教育も、教室の内外を問わず実践します。人間性豊かな専門家を育て上げることこそ、本学科の大きな目標です。

伝統と挑戦



四元 孝道
TAKAMICHI YOTSUMOTO
作業療法学科長

この春、本学科を卒業した15名全員が国家試験に合格し、合格率100%を達成しました。全国平均を上回るこの成果は、一人ひとりの真摯な努力と、それを支えた教職員の情熱の結晶です。誇りを胸に現場へ出た卒業生たちを、私たちはこれからも応援し続けます。また、今年度も28名の新入生という新しい家族を迎えられたことを、心から嬉しく思います。ご入学おめでとうございます。本学科は教員と学生の距離が近く、対話を大切にする文化があります。安心して学びに励んでください。そして皆さんがこれから歩む道は、人々の人生に深く関わる、責任と喜びに満ちたものとなります。

本学に食環境データサイエンス学科が新設されたように、近年ではデータサイエンス・AI・ロボットが私たちの生活や医療に、より身近なものとして実感できるところになってきました。これからの作業療法士は、こうした科学技術の進展を視野に入れながら、より高度な判断や役割を求められるようになるでしょう。私たちは今、その新しい活用のあり方を模索している最中にあります。ただ一つ確かなのは、作業療法は人間の感情を扱う仕事だということです。機械的なデータ処理では測れない、言葉の持つ重みや、相手の表情の曇り、声の震えが持つ意味を理解し、一人ひとりの人生の彩りや心の機微を汲み取ること。それは、同じ喜びや悲しみを知る人間にしかできない、尊い技術です。

本学科はリハの番人という理念のもと国際水準の教育（WFOT認可）を提供し続けています。確かな知識と技術を基礎とし、その上で、変化する社会に対応でき

る視野を広げていきましょう。あなたが誰かの力になりたいと願うとき、その手と心こそが、最高の治療手段となります。実践的なスキルと共に、相手の痛みに寄り添える豊かな感性を、この4年間で養ってください。皆さんと共に、これからの時代の作業療法のあり方を探究できることを楽しみにしています。

第61回 作業療法士国家試験

本学合格率

100%

15名合格/15名受験

- ・園芸療法士取得 令和7年度卒 7名
- ・パラスポーツ指導員(初級) 令和7年度卒 14名

作業療法(Occupational Therapy:OT)とは

作業療法とは、様々な要因により日々の生活行為に困難を抱える人々に対し、その人にとって価値のある「作業」(日常生活活動、仕事、趣味等)に焦点を当てた治療・指導・援助です。
心身の機能回復や維持、(再)作業獲得、活動しやすい環境を整えることで、その人らしい健康で幸福な生活の実現を保健・医療・福祉・教育・就労等の幅広い領域で支援します。

コミュニケーションの力を培う

効果的な治療を実現するためには、障害に苦む方はもちろん、ほかのスタッフたちとのコミュニケーションが重要です。本科のカリキュラムではゼミナール形式のグループワークをふんだんに取り入れることで、専門知識を深めるとともにコミュニケーション能力を身につける機会を設けています。個性を認め大切にするのがリハビリテーションの基本です。相手の意見を聞き、自分の意見を伝える力を培います。

真の医療人を目指す道は平坦ではない

入学早期から実習を通して医療の現場にふれるほか、各界の講師を招き、幅広い内容の授業を行うなど、医療人としての確かな知識、技能、自覚を持つための授業を幅広く展開しています。教室は、生涯を通じて優れた医療人であるための基礎を徹底的に身につける場です。本学を卒業すれば、みなさんは学生ではなく一人の医療人。私たち教員にとっても同じ医療に携わる仲間になります。そんな想いで指導しますから、中途半端は決して許されません。医療人として真に優れた作業療法士を目指してください。

食物栄養学部

就職指導課長 松成 翔

本年度も就職を希望する全ての卒業生が進路を勝ち取ることができました。例年同様に医療機関や福祉施設、委託給食事業者などを筆頭に、専門性を発揮できる業種が進路に選択されています。また、難関とされる公務員試験においても、専門職一般職双方で合格者を輩出することができました。これらの実績は、卒業生各自が学業と就職活動の両立に向けて懸命に取り組んだことに加えて、ゼミ担当やクラス担任の先生方と就職指導課との教職協働が機能した結果であると考えています。

本学の教職員は、学生一人ひとりと将来についての悩みや相談に真摯に向き合っています。また、就職指導課では多様化する学生からの要望に対応すべく、年間を通じてオリエンテーションやキャリアガイダンス、学内個別企業説明会など就職支援に係る様々なイベントの企画・運営に従事するほか、ICTを活用した情報発信の最適化にも取り組んでいます。併せて個別の学生相談にも柔軟に対応し、本人の希望や個性の把握にも努め、公平かつ有益な支援が提供できる体制を整えています。

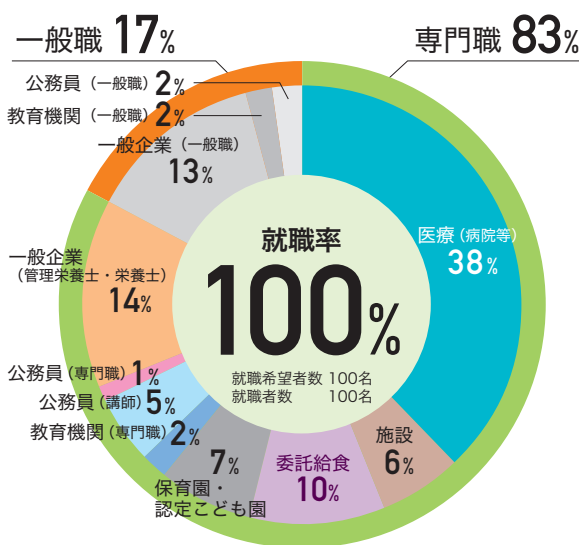
本学の建学の精神、「筑紫の心」にある勇氣・親和・愛・知性を涵養する人格教育を経験した卒業生諸君が、変化の激しい時代の中でも課せられた職責と誠実に向き合い、そして専門性を活かし地域社会に必要とされる人材となってくれることを願っています。

食物栄養学科

公務員	専門職
	愛媛県職員、北九州市教育委員会、福岡市教育委員会、山口県立宮野小学校
	(有)たまち調剤薬局、(医)ひがしクリニック、(医)ひのき会介護老人保健施設ひのき、(医)福岡輝生会 大牟田中央病院、(医)古川歯科クリニック、(医)森和会 行橋中央病院、(医)輝栄会 福岡輝栄会病院、(医)九州恵会 上田歯科医院、(医)聖峰会 田主丸中央病院、(医社)廣徳会 岡部病院、(医社)松和会 門司松ヶ江病院、(医社)千恵会 都立家政南口歯科、(一財)平成紫川会 小倉記念病院、(一社)朝倉医師会 朝倉医師会病院、(学)久留米大学 久留米大学病院、(学)東筑紫学園 東筑紫短期大学、(学)福岡大学 福岡大学筑紫病院、(株)LEOC、(株)グリーンハウス、(株)コスモス薬局、(株)サンキュードラッグ、(株)サンドラッグ、(株)デリカフレンズ、(株)東洋食品、(株)ドラッグストアモリ、(株)フィロス ゆめの樹保育園 しんこいわ、(株)ポピンズエデュケア、(株)マツモトキヨシ九州販売、(株)ミズ 溝上薬局、(株)芳野ケアサポート、(公財)健和会、(社医)北九州病院 北九州古賀病院、(社医)北九州病院 北九州小倉病院、(社医)北九州病院 北九州総合病院、(社医)北九州病院 北九州湯川病院、(社医)北九州病院 北九州若杉病院、(社医)共愛会 戸畑リハビリテーション病院、(社医)松清会 安岡病院、(社医)陽明会 小波瀬病院、(社医財)池友会 福岡和白病院、(社医財)池友会 新行橋病院、(社福)孝徳会 特別養護老人ホーム サポートセンター門司、(社福)仁愛会 仁愛保育園、(社福)筑前会 特別養護老人ホーム遠賀園、(社福)仁徳会 堅粕保育園、(社福)年長者の里 特別養護老人ホーム大蔵園、(社福)直方中央福祉会 直方中央保育園、(社福)光の子会 児童養護施設 光の子学園、(社福)真祐会 認定こども園 リアンのたのす保育園、(独)地域医療推進機構 九州事業所 九州病院、(医)鉄蕉会 亀田メディカルセンター(亀田総合病院・亀田クリニック 他)、(医)徳洲会 東京西徳洲会病院、(医)美咲会 はかたの森歯科こども歯科、(医社)翔舞会 エムズ歯科クリニック、一富士フーズサービス 株式会社、エムサービス株式会社、(社医)製鉄記念八幡病院、日清医療食品株式会社、富士産業株式会社、メフオスグループ、淀川食品(株)、株式会社 EPLink、国家公務員共済組合連合会 新別府病院、国際医療福祉大学・高邦会グループ 福岡中央病院
	(学)東筑紫学園 九州栄養福祉大学、(株)BPM、(株)サンテリカ、(株)トーホー、(株)ナフコ、(公)九州歯科大学、北九州市職員、タイドマーク、トヨタカローラ福岡株式会社 北九州本店、中川食品株式会社、中津市職員、日鉄エンジニアリング株式会社 北九州技術センター、プライムデリカ株式会社、ベストアメニティ株式会社、日本マクドナルドホールディングス株式会社

※略称表記について

(独)＝独立行政法人、(地独)＝地方独立行政法人、(国大)＝国立大学法人、(学)＝学校法人、(医)＝医療法人、(医社)＝医療法人社団、(社医)＝社会医療法人、(社福)＝社会福祉法人、(社医財)＝社会医療法人財団、(公財)＝公益財団法人、(一財)＝一般財団法人、(一社)＝一般社団法人、(株)＝株式会社、(有)＝有限会社



【令和8年3月卒業生実績】

支援スケジュール(食物栄養学部)

4月	●就職オリエンテーション/3年(SPI・GET検査) /3・4年(就職支援内容・スタッフの紹介、就職活動の進め方、自己分析方法、履歴書の作成についてなど)
5月	●就職対策特別講座/2・3・4年(外部講師などによる筆記・SPI(適性検査)・面接の対策講座) ●マナー講座/4年(外部講師による特別講座)
7月	●マナー講座/3年(外部講師による特別講座)
9月	●学内就職説明会/小倉南区キャンパス・4年(医療機関・施設・企業の採用担当者などによる就職先情報の収集など)
10月	●公務員試験対策講座/3年、10月頃～翌年3月(外部講師による公務員受験指導などの対策講座)※例：外部講師によるライブ配信とアーカイブ視聴のハイブリッド型
1月	●就職ガイダンス/3年(就職活動を終えた4年生から就職活動のスケジュールや対策方法、在学生に向けたアドバイス・メッセージなど)

※小倉北区キャンパスでは、年間を通じて企業・各種法人からの要請に応じた「個別説明会」を開催しています。

リハビリテーション学部

就職指導室長 室 井 廣 大

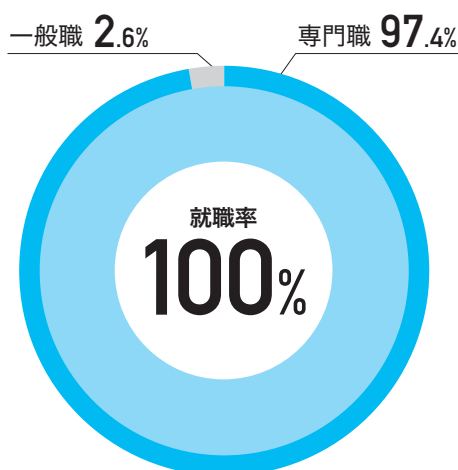
令和7年度は、両学科ともに卒業生全員が就職決定し、実就職率100%という結果でした。就職活動では、九州リハビリテーション大学校時代から長きにわたりお力添えをいただいている病院・施設様との関係性に感謝することが多く、養成校として設立60年を迎える歴史ある学校ゆえのつながりを実感します。

そうした支援体制を背景に、自身のキャリアの第一歩として就職活動に真摯に取り組んだ第12期生の努力と成長にも大きなものがあります。計10数回にわたる就職ガイダンスでは「就活を通して人間性（4つの心）を高めよう」をテーマに医療人としてあるべき姿、本学学生としての在り方なども伝えて参りました。学内での個別支援体制が充実していることで、やや受け身になりがちな学生もおりますが、そうした場合はある意味厳しさをもって突き放し、自身のキャリア、職業観を考える時間を与えます。我々が就職後も近くでサポートできれば良いですが、現実にはそうはできないのでやはり自分の意志で就職先を決め、試験を受け、内定を勝ち取るという一連の流れを通して自分の足で立つことを実感する必要があります。

すぐに答えを求める世代とも言われますが、12期生の就職活動では、92名それぞれが自身の状況を分析、判断し、意思決定を行い、実行するといういわゆるOODAループで主体的に行動できたことが実就職率100%という結果につながりました。

変化の激しい時代でも、人への想いや、医療人としての倫理観は変わらないものがあります。最も長い歴史を持つ養成校として脈々と繋がってきたリハビリテーションマインドを今後、就職支援、学生教育を通じて教職員一丸で伝えて参ります。

理学療法学科（卒業生77名中77名就職）



【令和8年3月卒業生実績】

就職活動状況（2026年3月卒業生アンケートより）

- ＊第1希望内定率
理学療法学科： **89.9%** 作業療法学科： **73.3%**
- ＊受験1社目内定率
両学科共通： **87.5%** （平均受験社数： **1.1社**）
- ＊福岡県内就職率
理学療法学科： **77.9%** （77名中60名（県外17名））
作業療法学科： **62.5%** （15名中10名（県外5名））
- ＊北九州市内就職率
理学療法学科： **39.0%** （77名中30名）
作業療法学科： **37.5%** （15名中6名）

作業療法学科（卒業生15名中15名就職）



【令和8年3月卒業生実績】

公務員	山口県防府市役所、下関市立市民病院
医療機関・一般企業	【関東エリア】 タムスグループ、慶友整形外科病院・クリニック、TMGあさか医療センター 【中国・四国エリア】 茜会、山口県済生会下関総合病院、光風園病院、こころの医療センター、マッターホルンリハビリテーション病院 【福岡県内】 北九州病院グループ（北九州宗像中央病院等）、陽明会、産業医科大学病院、共愛会、飯塚病院、久留米リハビリテーション病院、瀬田病院、霧ヶ丘つた病院、宗像水光会総合病院、たなか整形外科、戸畑総合病院、しもね整形外科・骨粗しょう症クリニック、新生会病院、清家渉クリニック、福岡みらい病院、田原整形外科、桜十字福岡病院、桜会、甘木中央病院、萩原中央病院、久恒病院、おかかぎ病院、稲葉病院、直方病院、青洲会病院、聖マリア病院、飯塚嘉徳病院、孝徳会、田川新生病院北九州市立病院機構、門司病院、長尾病院、東筑病院、博愛苑リハビリテーションセンター、済生会八幡総合病院、八幡厚生病院社会福祉法人北九州市福祉事業団、芦屋中央病院、聖ヨゼフ園、貝塚病院、くらて病院、まつもと整形外科、芳野病院、桜クリニック 【九州エリア】 佐藤第一病院、別府リハビリテーションセンター、大場整形外科、国東市民病院、大分岡病院、大分赤十字病院長崎北病院、ちゅうざん病院
	一般職 中津市役所、株式会社サカイ引越センター

地域に根差し、信頼される保育者を 目指して



笹部 聡子
SASABE SATOKO
保育学科長

家庭環境や地域社会の変容が進む中、幼児教育・保育への期待はますます大きくなっています。本学保育学科は、「筑紫の心」をもち、豊かな人間性と確かな専門性を兼ね備え、社会に貢献できる実践力のある保育者の養成」を掲げ、日々学生たちと真摯に向き合っています。私たちの教育の根幹にあるのは、学生一人ひとりの成長を教職員全員で見守る「きめ細かな支援」と、教育・保育の現場を感じる「実践的な学び」です。

本学科の学びの大きな特色は、学内での講義にとどまらない多角的な体験にあります。キャンパス内にある認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園との緊密な連携により、学生は日常的に子どもたちと触れ合い、保育の喜びと責任を肌で感じることが出来ます。また、学生が主体となつて企画・運営する地域の子育て支援

活動では、未就園児や保護者の皆様との交流を通じ、教科書だけでは学ぶことのできない「コミュニケーション力」を育みます。こうした経験は、卒業後に現場へ出た際、確かな自信となつて学生を支えます。

実習現場における実習記録のデジタル化に対応した情報機器活用
の推進や、自ら課題を見つけ解決する力を養うアクティブ・ラーニングの授業を展開するなど、時代の変化に対応した学びの環境を整えています。

また、保育学科の二年間で培った保育の専門性を土台に、さらに一年間専攻科（介護福祉専攻）で学ぶことで、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格・介護福祉士資格の免許・資格をもつスペシャリストを目指す道も拓かれています。この「東筑紫短期大学での三年間」という選択肢は、地域社会を支える専門職としての歩みとなるでしょう。

歴史と伝統を守りつつ、常に新しい時代のニーズを先取りする本学で、子どもたちの未来、そしてあなた自身の未来を創造してみませんか。地域に根差し、信頼される保育者への一歩を、ぜひ東筑紫短期大学から踏み出してください。

夢は社会に必要とされる専門性豊かな保育者 憧れの「幼稚園教諭」や「保育士」に…

本学科はこれからのニーズに合った社会に必要とされる保育者を養成する学科です。その夢を叶えるために、建学の精神「筑紫の心」を基本にしながら、いくつかの特色を構築しています。その一つとして、キャンパス内にある附属幼稚園との連携を深めて、1年次から観察実習や附属幼稚園での「環境」等の授業を実施しています。また、保育者としての学生の資質向上や専門性を深めるために、学生が自主的に地域の保育現場に出かける取り組みを行っています。さらに、実習前の学生の不安を少しでも解消するために、教材研究や指導案の作成など、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな指導を行っています。

幼稚園や保育所（園）、施設での実習を体験した学生は、「無邪気な笑顔がかわいい」「実習を通して学ぶことが多かった」「早く保育者になりたい!!」など、保育者としてのやりがいを感じ意欲を高めています。

専攻科（1年間）で学び介護福祉士も取得

本学には、保育士資格に重ねて、1年間で介護福祉士資格（国家資格）取得を目指す養成課程「専攻科（介護福祉専攻）」のコースが設置されています。保育学科と専攻科の3年間を通して養われる広い視野と対人援助の知識・技術・職業意識は、様々な課題が山積する現在の少子高齢社会において求められる専門性です。保育学科での学びを根幹に、人の尊厳を支える倫理観や医療的ケア・介護技術の実践力は地域社会から高い評価を得ており、卒業生は、保育・障害児・者支援や高齢者ケアの広い分野で活躍しています。両分野の強みを多方面で活かし、将来、転職やキャリアアップにも有利となることでしょう。

専攻科 ▶ P22

令和8年3月卒業生

保育学科 免許・資格取得者数 卒業生 80名

- 幼稚園教諭二種免許状 …… 取得者数 **75名**
(取得率93.8%)
- 保育士資格 …… 取得者数 **80名**
(取得率100%)
- レクリエーション・インストラクター資格 …… 取得者数 **10名**
- 認定ベビーシッター資格 …… 取得者数 **41名**
- こども音楽療育士資格 …… 取得者数 **8名**

これからの時代に期待される 栄養士の新しい活躍の場を目指して



近藤 順子
KONDO JUNKO
食物栄養学科長

この春、東筑紫短期大学 食物栄養学科は、50名の新生が入学しました。社会で貢献できる栄養士を目指し、志しを高く持った学生たちが集まってくれています。

食物栄養学科は1958年に新設され長い歴史と伝統を大切にしながら、北九州市内で唯一の栄養士養成短期大学として、実践的な栄養士の人材育成に取り組んで参りました。卒業生の多くが「食」で人を支える担い手として社会で活躍しています。

本学科は教育目標として、「顕在化する様々な問題に実践躬行して取り組むことのできる人材の育成」を掲げております。この理念のもと、社会の変化や時代のニーズを的確に捉え、「新しい栄養士の役割」の創出に努めてまいりました。その一環として、令和8年度より新たな資格として「美容栄養学専門士」を導入しました。この「美容栄養学専門士」とは美容に特化した栄養学の専門

家のことです。栄養士というと保育園、病院や学校などの給食施設で献立作成や調理を担当するお仕事だと思われる方が多いと思いますが、実は美容業界でも需要が高い職種だと言えます。摂取した食べ物により、身体の中からキレイをつくるノウハウを持つた人材を育成し、健康づくりの観点から人の美を考える力を養っていくことができます。現時点(2026年)では美容栄養学専門士の資格取得が可能な大学・短期大学は、本学 本学科以外にはありません。エビデンスに基づいた信頼性の高い、食の提案を行うことにより、新しい栄養士の役割として社会に貢献することができます。

また、学校教員である「栄養教諭二種免許」、医療事務関係の「医療秘書実務士」や食関係分野で活かすことができる「フードスペシャリスト資格」など、自分が学びたい分野を選んで学ぶことが出来ます。栄養士にとどまらないプラスアルファの資格を身につけることが出来るカリキュラムとなっています。

新しいことに積極的に挑戦し、自分の可能性を広げていって下さい。私たち教員一同、皆さんが安心して学び、充実した学生生活を送ることが出来るように全力で支えて参ります。

小学校や病院などで臨機応変な実践力を

栄養士の免許取得のための実習は小学校での学校給食実習の他に学生自身が自分の将来の就職先を考え、福祉施設・事業所や病院などから選択して一週間の実習を体験します。たとえば、病院実習では患者さんの年齢や症状に適した治療食の献立作成や食事指導の見学など、実践の場での栄養士としての応用力を養います。

栄養と美容の知識をもった人材を育成

国家資格である「栄養士」は献立作成、栄養指導、大量調理が主な仕事であるとイメージされていますが、美容業界でも需要が高い職種だと言えます。「美容栄養学専門士」の資格取得により、栄養と美容の両方の知識から新たな流行やビジネスに携わることができます。このように、プラスαの資格を取得し、目指すべき職業としての幅を更に広げることができます。

目標とする免許・資格

- ・栄養士
- ・栄養教諭二種免許状
- ・医療秘書実務士
- ・フードスペシャリスト
- ・美容栄養学専門士
- ・食品安全検定
- ・日商PC検定(文書作成)

将来の職場

栄養士として、病院や小学校、さらに企業の社員食堂の調理担当、保育所や老人保健施設・特別養護老人ホームでの献立作成など、広範囲な食に関わる職場で能力を発揮することができます。また、病院・医院で医療事務スタッフとしての仕事と栄養管理・栄養指導の役割を兼ねれば、専門職としての高い評価を受けることでしょう。加えて、美容業界での新しい栄養士の役割として「美容サロン」「フィットネスジム」「化粧品販売アドバイザー」など、幅広い分野で活躍することができます。

令和8年3月卒業生

食物栄養学科 免許・資格取得者数

卒業生 40名

- 栄養士免許 取得者数 39名
(取得率97.5%)
- 栄養教諭二種免許状 取得者数 13名
- 医療秘書実務士 取得者数 11名

- フードスペシャリスト資格認定試験 合格者 7名/受験者 7名
- 専門フードスペシャリスト 合格者 2名

地域に信頼され、未来を拓く 「介護福祉士」への道



笹部 聡子

SASABE SATOKO

専攻科(介護福祉専攻)長

少子高齢化が加速する現代社会において、介護福祉の現場は今、大きな転換期を迎えています。認知症の方に寄り添うケア、在宅での生活を支える居宅サービス、多職種が連携する地域包括ケアなど、現場が求める役割はますます多様化しています。専攻科(介護福祉専攻)では、建学の精神である「筑紫の心」を礎に、保育士資格取得者が一年間で介護福祉士の国家資格を取得することを目指し、専門的な知識と社会性を兼ね備え、地域社会に貢献できる人材の育成に邁進しております。

また、本学保育学科での二年間の学びに専攻科の一年間をプラスした、「東筑紫短期大学での三年間」も魅力の一つです。保育と介護の両面から、人の生涯にわたる理解を深めることができます。この学びの期間は、学生自身の可能性を大きく育む時間となります。

教育内容においては、理論と実践を繋ぐ体系的なカリキュラムを重視しています。講義・演習・実習を有機的に連動させることはもちろん、近年の現場ニーズに応える「介護DX・ICT」を積極的に導入しています。また、国家試験合格に向けて、個々の学生に適した学習スタイルを把握するなど、教職員が「一丸」となつて学生に寄り添い、手厚い支援体制を整えております。

そして何より、私たちが最も大切にしているのは、技術の先にある「心」です。専門職である前に一人の誠実な社会人であるべく、挨拶や適切なコミュニケーションといった礼節を日々の教育で徹底しています。教員と学生が共に「お掃除」に励む伝統や、地域でのボランティア活動を通じ、相手の痛みに寄り添い、自ら動く「奉仕の心」を育みます。本学専攻科での一年間は、社会から必要とされる喜びを実感する貴重な時間となるはずです。

地域に根差した福祉の未来を共に創っていきましょう。本学でお会いできる日を心よりお待ちしております。

活動報告

インターンシップ

日時：令和8年4月17日(金)9時～16時

訪問先：医療法人真鶴会 小倉第一病院

活動内容

- ① 感染症予防に関する講話及び予防着の着脱、手洗いチェック
- ② 多職種連携に関する各職種の業務内容及びチームケアの講話、演習
臨床工学技士、管理栄養士、理学療法士、看護師、介護福祉士等、各専門職の現場で説明を頂き、演習に取り組んだ
- ③ 在職している卒業生との懇談
- ④ グループワーク、考察の発表

・入学直後の研修として、対人援助業務に必須となるリスクマネジメントと多職種連携の概念について学び、また、人を支える専門職に従事するという意識も深めることができた。今後の授業や介護実習につながる、非常に有意義な研修であった。



第38回

介護福祉士国家試験

本学合格率

100%

15名合格/15名受験
全国合格率平均 70.1%

【専攻科(介護福祉専攻)出願資格】

- ・保育士資格を取得している方
- ・2027年(3月)までに保育士資格を取得見込みの方

目標とする免許・資格

- ・介護福祉士
- ・福祉住環境コーディネーター 2級・3級
(当検定試験のための対策授業があります)

将来の職場

- ・介護保険施設
- ・グループホーム、居宅サービス、病院
- ・障がい者(児)支援施設
- ・保育所、児童福祉施設
- ・幼稚園 など

就職指導課長 松成 翔

本学では、設置する各学科・専攻科の特性を活かしながら専門性の習熟だけにとどまらない、建学の精神である「筑紫の心」にある勇気・親和・愛・知性の四領域の調和・統合を目標とした人格教育にも取り組んでまいりました。

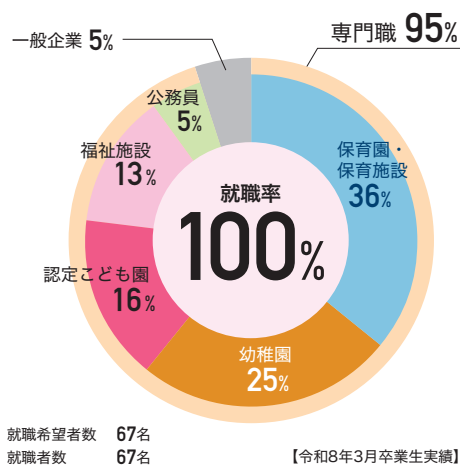
本年度においても希望する全ての卒業生が就職という進路に到達することができました。これらは卒業生一人ひとりの努力の結果であると同時に、各クラス担任の先生方と就職指導課が緊密に連携するなど、教職員が一丸となって支援する教職協働の成果であるとも認識しています。

また、就職指導課では多様化する学生からの要望に対応すべく、年間を通じてオリエンテーションやキャリアガイダンス、学内個別企業説明会など就職支援に係る様々なイベントの企画・運営に従事するとともにICTを活用した情報発信の最適化にも取り組んでいます。個別の学生相談にも柔軟に対応し本人の希望や個性の把握にも努めるとともに、既卒者の求人相談にも応じるなど、公平かつ有益な支援が提供できる体制を整えています。変化の激しい時代の中でも、卒業生諸君が本学で学んだ専門知識と豊かな人間性を発揮し地域社会から必要とされる人材へと飛躍してくれることを願っています。

保育学科

全国的な少子化の中、専門職の強みを大いに発揮し高い就職率を上げることができました。これも偏に本学の教育にご理解を頂き、採用して頂いた保育園、幼稚園、施設、企業の皆様のお蔭と弁え、ますます教育に力を入れていきたいと考えています。また、卒業生が様々な職場で活躍してくれていることも、この結果に繋がっていることを理解し感謝致しております。こうした要因のある中、学生一人ひとりの地道な努力と本年の卒業生が本学で学んだ専門知識・技術や経験を十分発揮し、社会貢献してくれることを切に祈っております。

公務員	北九州市職員(保育士)、 北九州市職員(保育士)(会計年度任用職員)※一時保護施設職員
医療機関・一般企業	専門職 (学)あおば学園 認定こども園 あおば幼稚園、(学)いのうえ学園 幼稚園型認定こども園 福岡いずみ幼稚園、(学)折尾愛真学園 愛真幼稚園、(学)田中学園 認定こども園めぐみ幼稚園、(学)ひかり学園 曾根ひかり幼稚園、(学)阿部学園 認定こども園 桜ヶ丘幼稚園、(学)愛光学園 愛光幼稚園、(学)育徳学園 フレンズ幼稚園、(学)恵光学園 くさみ幼稚園、(学)黒田学園 きらきら星幼稚園(小さな星の保育園)、(学)黒木学園 徳力団地幼稚園、(学)真観学園 上津役幼稚園、(学)水巻学園 幼保連携型認定こども園 水巻幼稚園、(学)成松学園 成松幼稚園、(学)川江学園 認定子ども園 お宮の里幼稚園、(学)村端学園 志井幼稚園、(学)多聞学園 わしみね幼稚園、(学)田淵学園 長行幼稚園、(学)百華学園 認定こども園 精華幼稚園、(財)鉄道弘済会 門司保育所みどり園、(社福)あさひ事業協会 あさひ保育園、(社福)いしみな保育園、(社福)和泉会 認定こども園 太陽の森、(社福)カトリック事業協会 小百合保育園、(社福)カリタスの園 天使育児園、(社福)護法会 みのりこども園、(社福)シオンの丘 愛の園保育園(小規模保育所こひつじ保育園)、(社福)次江 光明Kinder House、(社福)ひだまり会 かざぐるま保育園、(社福)愛育会 あけぼの愛育保育園、(社福)戸ノ上福祉会 大川保育園、(社福)宏隆会 日豊保育園、(社福)慈恵会 済美保育園、(社福)杉の実福祉会 中央しおり保育園、(社福)洗心会 認定こども園 岩崎保育園、(社福)中部少年学院(なかべ学院)、(社福)長門市社会福祉協議会 児童養護施設 依山湯の家、(社福)鳳雲会 北九州乳児院、(社福)北九州あゆみの会、(社福)北九州市福祉事業団、(社福)北九州市保育事業協会、(社福)北九州市門司民生事業協会 藤松保育園、(社福)北九州市門司民生事業協会 児童養護施設 門司ヶ関学園、(社福)明和会 キンダーポート保育園、(社福)緑風福祉会 大浜保育園、(社福)長浜会 認定こども園 長浜保育園、(宗)善立寺 善立寺保育園、(学)戸早学園 北九州保育福祉専門学校附属 刈田幼稚園、デコボコベース株式会社 放課後等デイサービス ハッピーテラス黒崎教室 一般職 (株)エムプラス、コンストラクション合同会社、日研トータルソーシング株式会社 小倉事務所
進学	(学)東筑紫学園 東筑紫短期大学 専攻科(介護福祉専攻)

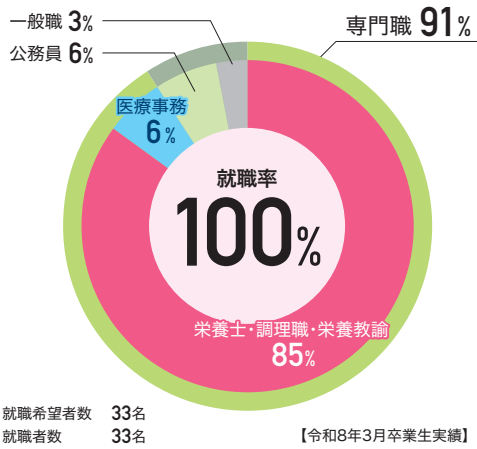


令和8年度(社福)北九州市福祉事業団保育セミナー風景

食物栄養学科

食について専門性の高い教育を行い、人間にとって重要な食分野で社会的貢献のできる人材の育成に力を入れています。そして社会人になるにあたり、資格を持つということは単に就職という時点の優位性だけではなく、生涯に及んでその人の人生を豊かで可能性の高いものにして欲と理解できるように教育を行っています。また、自分の将来性の方向をその資格の範囲で見ず、針の穴から覗くような、狭い価値観で就職活動することにならないように、就職指導課では支援し、その結果、学生は社会性があコミュニケーション能力を兼ね備えた人材として多くの内定を勝ち取りました。

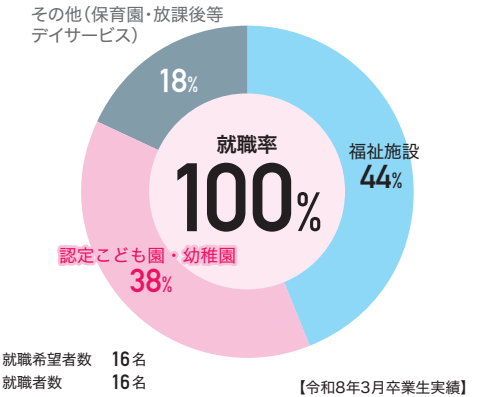
公務員	北九州市職員(栄養教諭)、国土交通省 中国地方整備局	
医療機関・一般企業	専門職	(医)smile design ひうら歯科クリニック、(医)ふたて会(西野病院・介護老人保健施設やすらぎ・在宅支援センター)、(医)橋永会 ながやま矯正歯科クリニック、(学)明佳学園 双葉中央こども園、(株)麻生 飯塚病院、(株)ドラッグストアモリ、(社医法)北九州病院(北九州中央病院)、(社福)江松会 認定こども園 花園保育園、(社福)カリタスの園 天使育児園、(社福)北九州市門司民生事業協会 児童養護施設 門司ヶ関学園、(社福)双葉会 児童養護施設双葉学園、(社福)同潤会 特別養護老人ホーム六角堂、(社福)マリアの園福祉会 船越保育所、(社福)菊陽会 さくら保育所、(社福)宏隆会 日豊保育園、(社福)真祐会 白銀保育所、(社福)鎮西別院福祉会 鎮西保育園、(社福)法楽荘 どんぐり保育園、(社福)豊徳会、(特社)年長者の里、エムサービス株式会社、日本国民食株式会社、メフォスグループ、下関アグリフードサービス 株式会社、富士産業 株式会社
	一般職	(株)サンリブ
進学	九州栄養福祉大学編入(進学)、(学)福原学園 九州女子大学 家政学部 栄養学科編入(進学)、(学)福原学園 九州女子大学 家政学部 生活デザイン学科編入(進学)	



専攻科

全員が介護福祉士の資格を取得し、希望の介護福祉関係の職場に就職することができました。高齢化社会での福祉の担い手として活躍してくれることを楽しみに、今後も地道な教育を行い、福祉の世界で社会的貢献のできる人材を育成して参ります。

医療機関・一般企業	介護福祉士	(医)博愛会 介護老人保健施設 博愛苑、(社福)兼惠園 特別養護老人ホーム シルバー・サン・ホーム、(社福)広寿会 足原のぞみ苑、(特社)年長者の里
	保育教諭	(社福)和泉会 認定こども園とさきいろ 他、(社福)いわき福祉会(さんるくこどもえん 他)
	保育士	(社福)春香会 熊西保育園、(株)ヒューマンミックスコミュニティ(放課後等デイサービス Happiness kids)、(株)ワークワンズ(児童発達支援・放課後等デイサービス プロッサムジュニア)
	幼稚園教諭	(学)晴光学園 光沢寺中井幼稚園、(学)大浦学園 門司こばと幼稚園、(学)本城学園 本城東幼稚園



進学・編入学など

- (学) 東筑紫学園 九州栄養福祉大学
食物栄養学部 食物栄養学科 4名
- (学) 福原学園 九州女子大学
家政学部 生活デザイン学科 1名
- (学) 東筑紫学園 東筑紫短期大学
専攻科 (介護福祉専攻) 11名

支援スケジュール

4月	●就職オリエンテーション/2年(就職支援内容・スタッフの紹介)
5月	●就職ガイダンス/2年(就職活動の進め方、自己分析方法・履歴書の作成について 等) ●個人面談/2年(希望する業種の確認、求人票の提示、応募書類の作成、面接練習 等)
6月	●卒業生の講演/2年(在学生に向けたアドバイス・社会人として働くうえで気を付けるべきこと 等) ●就職ガイダンス/2年(幼児教育・幼児保育関係団体と連携して開催) ●外来講師の講演/2年(幼児教育・幼児保育関係管理職者からの講演 等)
7月	●就職ガイダンス/1年(就職支援内容・スタッフの紹介、過年度の求人数・就職状況について 等) ●外来講師の講演/2年(就職活動の進め方、自己分析方法・履歴書の作成について 等)
9月	●就職ガイダンス/2年(履歴書の作成・面接対策について 等) ●個人面談/2年(応募書類の作成・面接練習 等)
12月	●卒業生の講演/2年(在学生に向けたアドバイス・社会人として働くうえで気を付けるべきこと 等) ●外来講師の講演/2年(食物栄養学科在学生へ向けてのマナー講座)
1月	●就職ガイダンス/1年(就職活動を終えた2年生から就職活動のスケジュールや対策方法、在学生に向けたアドバイス・メッセージなど) ●業界・業種研究会 等/1年

※略称表記について
(学)＝学校法人、(宗)＝宗教法人、(社福)＝社会福祉法人、(特社)＝特定社会福祉法人、(医)＝医療法人、(医社)＝医療法人社団、(社医)＝社会医療法人、(特医)＝特定医療法人、(公財)＝公益財団法人、(財法)＝財団法人、(一財)＝一般財団法人、(一社)＝一般社団法人、(株)＝株式会社、(有)＝有限会社

5泊6日韓国研修

第17回国際理解 韓国研修日程表

9/2(火)	下関港発 →
9/3(水)	入国手続き、釜山港からホテル移動、甘川文化村にてチマチョゴリ体験、昼食(チャガルチ市場) 国際市場、南浦洞、釜山タワー観光、ロッテデパート、西面地下商店街、釜山最大規模の釜田市場視察夕食(釜田市場)
9/4(木)	釜山シティツアーコース、岩南公園、甘川文化村、多大浦海水浴場、峨嵋山展望台、臨時首都記念館、龍頭山公園、釜山博物館、冬栢島、広安里海水浴場、海雲台海水浴場、映画の殿堂、釜山市立美術館、三光寺見学
9/5(金)	K-POPダンス体験(2時間)、釜山コーヒー博物館見学(その後自由行動)
9/6(土)	ホテル出発、観光地見学(その後自由行動) ホテル集合 釜山港へ移動、出国手続き後、帰国の途へ
9/7(日)	到着、入国手続き後、解散

K-POPダンス



釜山タワー



チマチョゴリ体験



三光寺

3泊4日台湾研修

第8回国際理解 台湾研修日程表

3/16(月)	福岡空港発 → 台湾桃園国際空港着 市内観光(龍山寺、台北青草街、士林夜市)
3/17(火)	桃園長庚医院、長庚大学見学、台塑企業文物館見学・観光(九份、西門楼、寧夏夜市)
3/18(水)	迪化街(漢方薬・乾物問屋街・ランタンスポット)、台北動物園(パンダ等)見学、寧夏夜市
3/19(木)	松山文創園區見学 台湾桃園国際空港発 → 福岡空港着

龍山寺



九份



動物園



長庚大学学食

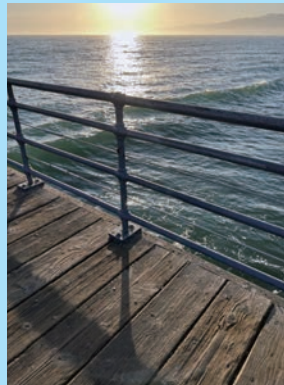


夜市



4泊7日アメリカ研修

サンタモニカの
サンセット



持ち寄りランチ会場の庭にて

9/1(月) 福岡空港発 → ロサンゼルス空港着

9/2(火) Target や Trader Joe's を訪問

9/3(水) California のテーマパーク を訪問



9/4(木)

Outlet訪問後、地元のスーパーで、翌日の送別会の材料購入

9/5(金)

サクラメント氏宅で調理。地元関係者の持ち寄り料理と合わせて送別会実施

深夜、ロスアンゼルス発 → ソウル経由

9/6(土) 機内

9/7(日) → 福岡空港着



5泊5日セブ研修

3/24(火) 福岡空港発 → ソウル経由 → セブマクタン空港着

3/25(水) LCIC大学から九栄大のオープンキャンパスにオンラインで参加
ドライマンゴ工場と貝殻工場を見学

3/26(木) ボートで島めぐり、遊泳やウニ採りを楽しむ

3/27(金) LCIC大学カフェテリアで、たこ焼き、三味線披露で現地学生と交流

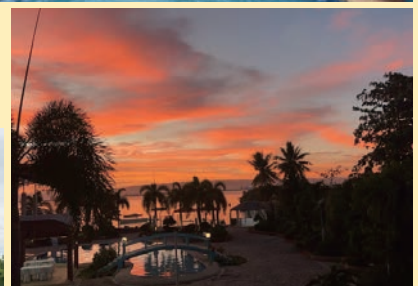
3/28(土) 早朝、セブマクタン空港発 → ソウル経由

同日 → 福岡空港着

オランゴ島リゾートにて



カオハガン島にて



九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学のキャンパスで学ぶ 北九州市立年長者研修大学校周望学園シニアカレッジ

元気に
シニアライフを
愉しもう！
2025

開講スケジュール

1 限目（13：00～14：30）

2 限目（14：40～16：10）

		1 限	2 限
1	9月3日 (水)	開講式 オリエンテーション	レクリエーションで リフレッシュ！ 東筑紫短期大学 保育学科 助教 大橋 祐介
2	9月10日 (水)	指先を動かすことは、心と体にうれしい効果がたくさん！ ～‘小物作り’を楽しんでみましょう～ 東筑紫短期大学 専攻科 准教授 廣藤 智之	健やかなシニアライフのためにできること ～「食」からのアプローチ～ 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食物栄養学科 講師 林田 智子
3	9月17日 (水)	生き生きとしたシニアライフを！ ～免疫力を高める食事のポイント～ 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食物栄養学科 学科長 教授 安倍 ちか	
4	9月24日 (水) バス移動日	フレイルって何!? 健康寿命を延ばして元気に過ごそう！ 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 准教授 吉田 遊子・准教授 神崎 良子	
5	10月1日 (水) バス移動日	あなたの脳はもっと輝く！ 暮らしに役立つ認知機能アップ 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 学科長 教授 四元 孝道	暮らしに役立つ 心のメンテナンス法 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 准教授 平澤 勉
6	10月8日 (水)	健康データから学ぶ 「予防医療とデータの力」 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食環境データサイエンス学科 教授 大庭 英樹	便利だけど落とし穴も？ シニアのための生成 AI 活用術 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食環境データサイエンス学科 教授 萩原 勇人
7	10月15日 (水)	令和のことも事情 ～「食生活」「心と体」「学力」は大丈夫？～ 東筑紫短期大学 食物栄養学科 教授 岡井 正義	心も体もウキウキ！リズムを打って “楽しいボディパーカッション！” 九州栄養福祉大学 こども教育学部 こども教育学科 教授 山田 俊之
8	10月22日 (水)	元気に長生きするために 15 ～歌と踊りと古典浪曲で楽しく学ぶ「長寿節」～ 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長 室井 廣一	閉講式

受講者の声

- ・座学と体を動かす講座がセットされているのが良かったです。参加型で皆さんと一緒に何かできたのも良かったです。
- ・来年も参加したい。
- ・次回も楽しみにしております。ありがとうございました。
- ・毎年恒例の行事で楽しみにしています。
- ・お友達に誘われて。良い話がいっぱい聞けました。
- ・3年目になります。とても講義内容がすばらしく、シニアの時代に即応した教えばかりでした。
- ・身体も頭もフル回転させて楽しめました。
- ・学生のサポートが心強かったです。
- ・丁寧な説明とプリント教材がありがたかったです。
- ・食習慣・運動・対人交流・知的行動習慣の大切さが分かりました。
- ・楽しかったです。浪曲調がなつかしかったです。
- ・園児のプレゼントがうれしかった。「四つの心」大切にしたいです。



九州栄養福祉大学 第22号

- リハビリテーション学部における入学前教育の取り組みの検証(その2) 石橋 敏郎・室井 廣大
- 作業療法は「私らしさ」を取り戻すためのリハビリテーション
— 脳・身体・環境の相互作用の中に「私らしさ」がある — 佐野 幹剛
- 乳幼児期の手と環境の相互作用における運動発達に関する一考察 佐野 幹剛
- 後出しじゃんけん課題における反応抑制と認知的柔軟性
— 反ステレオタイプ行動の認知的コストの予備的研究 — 四元 孝道・久保 拓哉・平澤 勉・吉岡 奈々・松田 鶴夫
- Scale for Power of Total Vitalityの開発
～ 内容妥当性の検証 ～ 青山 克実・石橋 敏郎・佐野 幹剛・廣滋 恵一・四元 孝道・平澤 勉・室井 廣大
- 日本における農福連携に関するスコーピングレビュー
～ 現状、課題、そして持続可能な共生社会への展望 ～ 吉岡 奈々・四元 孝道
- 個別学習とグループ学習に関するアンケート調査と学習効果の分析
..... 久保 拓哉・青山 克実・平澤 勉・吉岡 奈々・四元 孝道
- 年長者研修大学校参加者における認知機能特性
— MoCA-JおよびTMT-Jを用いた横断的検討 — 久保 拓哉・吉岡 奈々・村田奈保子・四元 孝道
- MRデバイスをを用いたマーカーレス計測による把持動作の運動学的分析の試み 久保 拓哉・坂本 憲太・四元 孝道
- 幸せについての一考察 ～ ウェルビーイング(Well-being)とは ～ 竹並 正宏
- 英語でコミュニケーション — 英語の音作りからリスニングスキル向上へ③ — アルファベットで音学び 梅崎 義雄
- 新しい解剖生理学実習 (1)毛細血管の観察 田畑 純・大野 優菜
- 新しい解剖生理学実習 (2)ビニールテープを使った解剖学実習 田畑 純・大野 優菜
- 学校教育相談研究の動向 — 専門誌掲載論文の30年から大まかな傾向をよむ — 本多みどり
- 学校における内観法の有用性に関する研究 永田 正明
- WebアプリケーションフレームワークDjangoを用いた「学内施設利用予約システム」の構築
..... 萩原 勇人・赤松 貴文
- 教育DX支援システムの構築1 — Fuizを用いたゲーミフィケーション学習プラットフォームの構築 — 赤松 貴文
- 生成AIの変遷と栄養サポーター『qAさん』の開発 坂尻 徹也・小野 要
- 学習指導要領改訂時期における特別活動の課題
— 研究大会に提出された実践発表資料等の分析を通して — 脇田 哲郎・平野 修
- 小学校教諭養成課程におけるアクション・リサーチによる英語の授業改善
— 英語に対する意識調査に基づいて — 松本 明夫・井之上浩幸
- 幼小接続『架け橋期』における音読指導モデルの構想
— 物語文『大きなかぶ』を事例とした視覚的足場理論 — 武田 祐子
- 体育授業における映像活用と学習促進
— 言語化による注視点の焦点化を手がかりに — 原本 賢一

東筑紫短期大学 第56号

- 幼児期の領域「環境」における(数量・図形)の指導の在り方 ～ 小学校算数科の領域変更からの影響 ～ 前川 公一
- 社会的養護における親子関係の再構築を支援するICT・生成AIの可能性と社会的課題の検討
..... 井田 智美・松田 昭信
- 教育職の研究(その3) 教育実習指導の取り組みについての一考察
— 教育実習Ⅰを終えて教育実習Ⅱへ向けた個人面談の効果について — 丸田 敦子
- 学校教育で実践される体育科指導法に関する一考察
— 領域「健康」から始まる各学校段階の接続と連携 — 大橋 祐介
- 教育職の研究 本学の特色ある教育課程を求めて
— 災害の復興とSDGs「表現活動」実践記録の考察 — 木本 節子
- 乳児保育における理論「Ⅰ」と演習「Ⅱ」を実践力へ繋ぐ授業構築
— 学生の振り返りを基に — 岩橋 敏子・川副さわ子
- 栄養士養成課程における学生の食生活・健康意識および国の健康施策に関する認知の調査 阿部亜希恵

日本リハビリテーション発祥地記念館 九州リハビリテーション大学校記念館

見学のご案内



2017(平成29)年4月22日に開館した両記念館には、これまで、医療・福祉・行政関係者、卒業生、地域住民の皆様など、たくさんのご来館をいただきました。また、地域の市民センターと共同し、健康づくり教室の開催も5年目を迎えました。ぜひ、お誘いあわせのうえ見学にお越しください。

理学療法・作業療法教育60年
記念事業

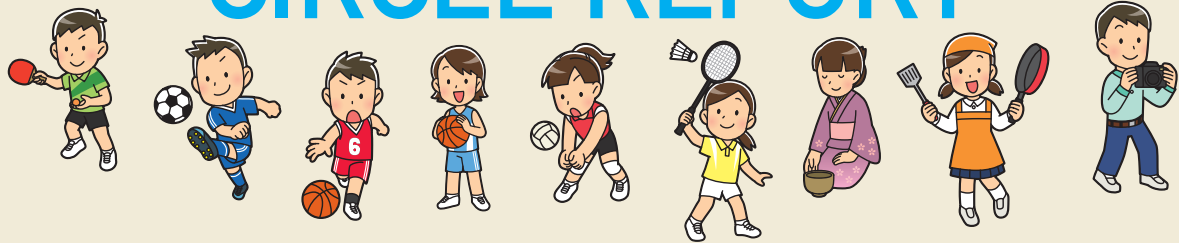
令和8年10月10日[土] 開催

〈令和7年記念館来館者〉

来館日	来館者名	人数
R7 1月16日	令和7年度入学前セミナー参加者	41
18日	地域健康づくり教室の開催③	14
	生き生き葛原っこ市民講座	23
22日	小倉城竹明かり実行委員会	1
24日	朝倉市久喜宮コミュニティ協議会	8
2月12日	北九州市保健福祉局 保健所	2
14日	山口赤十字病院理学療法士	1
22日	地域健康づくり教室の開催④	16
27日	元日本理学療法士協会会長	1
	九州工業大学 教員・他	3
28日	心理カウンセラー(作業療法士)	1
3月 8日	地域健康づくり教室の開催⑤	17
11日	ドイツより Prof.Michael + Gaby Quintel	2
21日	ゆみのハートクリニック渋谷	2
24日	九州医療スポーツ専門学校教員	1
25日	九州医療スポーツ専門学校教員	1
4月 2日	専門学校九州リハビリテーション大学校第1期卒業生	3
5日	一般	1
30日	九州工業大学 研究員・他	3
	九州医療スポーツ専門学校教員	1
5月 2日	沖縄キリスト教学院大学教員 親子	2
9日	北九州市職員	1
13日	九州栄養福祉大学8期卒業生(おおぞら病院)	1
20日	北九州市保健所保険企画課 職員	3
24日	日本理学療法士協会60周年記念誌 座談会開催	7
6月 2日	北九州リハビリテーション学院 理学療法学科1年学生	19
4日	小文字病院系リハビリテーション スタッフ	32
11日	小文字病院系リハビリテーション スタッフ	32
15日	久留米リハビリテーション病院 九州リハ大36期卒業生	1
20日	福岡東病院付属リハ学院第5期卒業生(ご夫婦)	2
28日	旧九州リハビリテーション大学校 24期生同窓会	8
7月 2日	小文字病院系リハビリテーション スタッフ	32
9日	ノンフィクション作家 東京より	1
	北九州市議会 議長	1
18日	理学療法士 神奈川県川崎市より	1
19日	第4回オープンキャンパス参加者より	11
23日	総合せき損センター 医用工学研究室職員	1

来館日	来館者名	人数
8月12日	放課後デイサービスことりのいえあさかわ	15
30日	福岡県理学療法士会役員会 会長・他役員	29
9月 2日	参議院選挙法制局 職員	2
5日	就職説明会参加者より	12
13日	旧九州リハビリテーション大学校 33期生家族	3
24日	周望学舎シニアカレッジ受講者	27
26日	熊本保健大学教授(旧九州リハ大15期卒業生)	1
29日	社会福祉法人豊和会 役員	2
10月 1日	周望学舎 健康づくりサポーターコース受講者	31
	周望学舎シニアカレッジ受講者	28
2日	周望学舎 健康管理コース受講者	38
6日	京都橋大学 作業療法学科 教員	1
8日	朝倉市久喜宮コミュニティ協議会	27
9日	山口労災病院中央リハ部長・他(旧九州リハ大26期卒)	2
18日	地域健康づくり教室の開催①	7
22日	受験生	2
24日	北九州市保健福祉局障害福祉部長・他2名	3
	周望学舎 心と体の健康コース受講者	37
25日	リハ関連職種	4
25日	地域健康づくり教室の開催②	7
11月 1日	旧九州リハビリテーション大学校 14期卒業同窓会	13
2日	大学祭にて記念館開放 3日まで	—
8日	九州栄養福祉大学リハビリテーション学部9期卒業	2
10日	TNC西日本テレビディレクター	1
14日	労働者健康安全機構本部 産業保健ディレクター・他	6
15日	地域健康づくり教室の開催③	8
17日	金城大学・京都橋大学教授	2
20日	長崎市橘戸石民生児童委員協議会 委員	13
26日	TNCテレビ西日本 記者のチカラ 出口調査録画取り	3
	日本ドリコム	3
12月13日	旧九州リハ大35期生・専門九州リハ3期卒業	2
	地域健康づくり教室の開催④	6

CIRCLE REPORT



【大学】

クラブサークル名称	活動日付	活 動
FCQ.A. サッカー部 (南区)	11月8日	北九州・下関地区大学体育大会 サッカー競技
豊作 (同好会) (南区)	4月26日	萩病院ボランティア
卓球同好会 (南区)	9月28日	令和7年度第5回ファイテン杯 秋季卓球大会
Smart Diet Club (部) (北区)	5月21日	WeLove小倉トマトの恩返し シリールズ取り組み発表
	6月4日	調理スキルアップ講座 カゴメ主催のアイデアコンテスト試作
	6月25日	赤ちゃんの為に食育講座 (離乳食アドバイス)
	6月28日	調理スキルアップ講座 カゴメ主催のアイデアコンテスト試作
	8月18日	みらいライオンズクラブ学生支部活動報告 九栄わんぱくハウス子ども食堂
	8月29日	醤油の商品開発 (スマソる)
	10月15日	スキルアップ講座 カゴメ主催のアイデアコンテスト試作
	10月15日	調理スキルアップ講座 米粉と野菜を練りこんだ米づくり
	10月19日	JCOMアクション支援プロジェクト 竹炭かりんとうJETblackの活動報告
	11月7日	醤油の商品開発 (スマソる)
45-m. ヨンジュウゴエム (部) (南区)	11月17日	カゴメ主催のアイデアコンテスト 最終審査会
	1月19日	スキルアップ講座 新メンバーでの買い出し調理
	2月5日	ふくおか地域活動づくり 活動賞受賞 (サンタウォーク)
	8月11日	軟式野球チーム「刈田スラッガーズ」での データ測定
	8月31日	PTagora!2025フィジリンピック学生の部
	9月6日	東先生講演会 スポーツ傷害の予防など
	9月22日	刈田スラッガーズ フィードバック

クラブサークル名称	活動日付	活 動
アウトドアサークル (北区)	5月24日	デイキャンプ 帆柱キャンプ場
	7月13日	デイキャンプ ビザ作りなど
	9月14日	キャンプ 大分県泉水キャンプ場
バレーサークル (北区)	11月1日	第72回北九州・下関地区大学 体育大会バレーボール競技 (男子) 3位
けがゼロLab (南区)	7月8日	InBody測定会 東筑紫学園高校にて
学友会執行部(大学) 北区キャンパス	9月20日	学友会研修 学年間の交流(大・短合同)
学友会執行部(大学) 南区キャンパス	9月14日	九州地区大学体育競技会 体育系学生リーダーズトレーニング

【短大】

クラブサークル名称	活動日付	活 動
卓球部	5月16日	第76回全九州学生春季卓球選手権大会
	9月1日	第76回全九州学生秋季卓球選手権大会 団体戦：3部リーグ2位
ボランティア部	7月12日	尾倉幼稚園 夏まつり
	8月31日	令和7年度 24時間テレビボランティア
	9月20日	子ども達とのふれあい遊び等 (みのり子育てセンター)
	11月8日	ファミリーイベント「リトル・ママフェスタ」
	11月8日	そよかぜまつり
	12月13日	日本幼児教育学会第35回大会
	12月14日	あおば幼稚園 生活発表会
バレーサークル	11月1日	第72回北九州・下関地区大学 体育大会バレーボール競技 (男子) 3位
ブラーシアンサンプル	12月13日	マシュマロサンタフェスティバル

※活動報告書提出分を記載



オープンキャンパス 2026

参加申し込みはホームページから



九州栄養福祉大学

食物栄養学部・こども教育学部

小倉北区キャンパス

6/27(土) 10:00～
7/25(土) 10:00～
8/9(日) 10:00～
8/22(土) 10:00～

リハビリテーション学部

小倉南区キャンパス

 無料 送迎バス運行(予定)

6/27(土) 10:00～
7/18(土) 10:00～
7/25(土) 10:00～
8/8(土) 10:00～
8/23(日) 10:00～

東筑紫短期大学

保育学科・食物栄養学科・専攻科

小倉北区キャンパス

6/27(土) 10:00～
7/25(土) 10:00～
8/9(日) 10:00～
8/22(土) 10:00～

H I R A K U

拓く

発行

九州栄養福祉大学 URL <https://www.knwu.ac.jp/>
東筑紫短期大学 URL <https://www.hcc.ac.jp/>

発行日 初版 第1刷 令和8年6月19日
編集 企画情報室



JUNIOR COLLEGE
ACCREDITED
2022



UNIVERSITY
ACCREDITED
2023